
第4回アニメキャラ限定 脱出ゲームDERO！

よしかず

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

第4回アニメキャラ限定 脱出ゲームDERO！

【Nコード】

N0629V

【作者名】

よしかず

【あらすじ】

今回は魔法先生ネギま！とハヤテのごとく！が8月に映画公開するということで、双方のアニメがDERO！のゲームに挑みます。果たして何人が脱出できるか・・・。

参加者の紹介

今回は、魔法先生ネギま！とハヤテのごとく！が8月に映画が同時公開するということで、ネギま！とハヤテのキャラがDERO!のゲームに挑みます。

ネギま！からは、神楽坂明日菜・近衛木乃香・桜咲刹那・宮崎のどか・綾瀬夕映。

ハヤテからは、綾崎ハヤテ・三千院ナギ・桂ヒナギク・愛沢咲夜・西沢歩。

今回はスペシャル版ということで、いつもより多くのステージを出します。

石像の間	3人
爆弾の間	4人
遺跡の間	3人
砂の間	1人
棒の間	6人
天井の間	3人
水の間	3人

果たして何人が脱出できるか・・・。

集合・管理人との会話

DEROのスタジオに集まるネギまとハヤテのごとくの面々。

明日菜「あら、あんたたち、ハヤテに出てくるキャラじゃない？」

ナギ「そうだ。この番組に出れることを一番楽しみにしていた。」

ナギのはしゃいでいるようで、ハヤテは、

ハヤテ「お嬢様、そんなにはしゃがないでください。」

ナギ「うるさいなー、ハヤテは。私はDEROのゲームが早くやりたいのだ。」

ヒナギク「ふふ、出たからには後悔のないようにしないとね。」

木乃香「脱出できるように一緒にがんばろうな。」

咲夜「ああ、わかつとるわ。」

刹那「木乃香お嬢様とお守りするようにしないと。」

夕映「のどか、緊張するでないです。」

のどか「は、はい・・・。」

のどかは緊張しているようだ。

西沢「ハヤテくんの為にもがんばりたいな。」

そして管理人が現れる。

管理人「ようこそ、ネギま！とハヤテのごとく！の皆さん！」

ナギ「おっ、山里か。」

管理人「僕は山里でも山ちゃんでもありません。君達がなぜここに呼ばれたか知ってる？」

明日菜「映画でしょ？」

管理人「その通り！8月27日に魔法先生ネギま！とハヤテのごとく！が同時公開されます！」

ナギ「これは絶対に見所のあるものばかりだ。」

明日菜「そうよ、ハヤテとネギまは初の劇場公開だから、ファンなら見るべきものよ。」

管理人「そうですね。というわけで今回はスペシャルとして、いつもより多くのステージを用意しました！みなさん、映画公開の為にがんばってくださいねー！」

ナギ「そんなことはわかっている。早く始める。」

管理人「わかりました。今回のルールは団体協力方式です。1人脱出ごとに賞金獲得できます。そしてスペシャルということで今回は奮発して、1人10万円です！」

明日菜「10万円！ということは10人だったら100万円・・・。

」

管理人「そういうことです！1人でも多く脱出して、賞金を獲得してくださいね！。」

ナギ「私も今、金が必要なんだ。」

明日菜「え、あんた金持ちでしょ？」

ナギ「わけがあつて、三千院家の財産相続権を失って、金が必要なのだ。」

明日菜「どういうことなの、それ？」

ナギ「いや、それはその・・・。」

ナギはうろたえると、ハヤテは申し訳なさそうな顔をした。

それではスタート。まずは石像の間。

石像の間 その1

1stステージは石像の間。

挑戦するのは、近衛木乃香・桜咲刹那・桂ヒナギクの3人。

全長幅18m、高さ150cm、奥には恐ろしく不気味な石像が。

3人は足かせをはめられ、動きを制限される。

見ただけでまさに清純とした日本人という3人だが、果たして無事に脱出できるか。

そして脱出口が閉ざされる。

ガチャン

女ナレ「目隠しを外してください。」

3人は目隠しを外す。

ヒナギク「ここは何なの・・・？」

木乃香「これから何が始まるんやろな。」

そしてモニターから管理人が現れる。

管理人「ようこそ、石像の間へ！いやあまさに大和撫子という3人組ですねー。」

木乃香「へへ、ありがとな。」

管理人「さあそれでは石像の間でのルールを説明しましょう。
この部屋から脱出するためには、迫りくる石像に捕まる前に、3つ

の扉の謎を解き、3つの扉を開け、石像停止ボタンを押してください。ちなみに石像の花を押すと、押した人が犠牲になる代わりに他の人が生き延びるための時間を稼ぐことができます。」

石像が残り80cmの黄色いDANGERゾーンに突入するとDANGERと警告される。そして赤いDEADゾーンに突入すると、その時点で全員石像に飲み込まれる。石像ボタンを押した場合、押した人が石像に飲み込まれ、石像が3m後退する。

管理人「それでは皆さん、幸運を祈ります！バイバイ。」

そしてモニターから管理人が消える。

刹那「お嬢様、何かあったら私が犠牲になりますから。」

木乃香「うちもせっちゃん巻き込まれないようにがんばるからな。」

女ナレ「それでは、うつぶせになってください。」

3人はうつぶせになる。

ブーンブーンブーンブーン

ヒナギク「始まるわね。」

女ナレ「移動まで、3、2、1・・・0。」

ドゴーン！

3人は石像の所まで引きずりこまれる。

木乃香・ヒナギク「きゃああ〜!」

そして石像の所まで引きずりこまれた。

ヒナギク「ちよつとこれ、怖いわよ!」

サポートルーム

西沢「わあ、本当に怖そう。」

明日菜「脱出できるわよ、木乃香なら。」

ナギ「石像は動きだしたら怖いからな。」

ウォーンウォーン

石像の泣き声が響く。

そして3つの扉が閉まる。

石像の目が光り・・・、

プシューーーーー!

炭ガスを噴射し、石像が動き出す。

脱出開始

木乃香「わあ、石像動き始めたわ！」

刹那「早く行きましょう！お嬢様！」

3人は第1の扉に行く。

ここからは、木乃香↓、刹那↓刹、ヒナギク↓ヒと省略します。

3人は第1の扉に着く。

女ナレ「第1の扉、さかさ言葉クイズです。

片方から読むと職業の名前。逆から読むと、物質になるものになる
3文字の言葉を並べなさい。」

こさんいしゃたそ

ヒ「職業と物質？」

木「医者^{さん}は違うしな。それから・・・、あつ、酸素、でもそんさは
ないわ。」

いろいろブロックを使う。

ヒ「固体・・・、あつ固体じゃない？逆からだといタコになるわ。」

木「あつ、なるわ！」

そして「いたこ」と並べ、

カチッ

ピンポーン

正解 いたこ

↓イタコ 固体↑

そして第1の扉が開く。

木「ヒナギクちゃん、すごいわ。」

第2の扉に向かう3人、このまま順調に脱出できるか・・・。

続く

石像の間 その2

石像の間に挑戦中の木乃香・刹那・ヒナギク。
第1の扉を開け、第2の謎に挑む。

ヒ「早く次の扉へ・・・。」

3人は第2の扉に着く。

女ナレ「第2の扉、穴埋めクロススイズです。

上下左右、4つの言葉が出来るように四角を埋めなさい。

こ ←
せい ↓ □ □ ↓ く
←
たび

せかしくじないが

ヒ「この中に2文字埋める？」

木「せつちゃん、わかる？」

刹那「わかりません・・・。」

ヒ「たびって何なの？」

木「『なが』っていうのはどうやる？長旅、長くなるし。」

ヒ「やってみるわ。」

ヒナギクは『なが』のブロックを入れ、ボタンを押した。

カチッ

ブーッ

木「あ、違うんか。」

ヒ「じゃあ、何なの・・・？」

行きづまる3人。

と、ここで石像がデンジャーゾーンに！

木「あつ、やばいわ！石像が来るで！」

木乃香があせる中、ヒナギクが！

ヒ「わかったわ！『じか』よ！小^こ鹿^{じか}、政^{せい}治^じ家^か、自^じ覚^{かく}、地^じ下^か足^た袋^びがあるわ。」

木「あつ、なるわ！」

刹「確か地下足袋という言葉はありましたね。」

ヒナギクは急いで『じか』のブロックを入れる。

カチッ

ピンポン

正解 こ 小鹿

政治家 ←

せい ↓ じか ↓ く

← 自覚

地下足袋 たび

第2の扉が開く。

ヒ「間に合ったわね。」

木「ヒナギクちゃん、すごいわ。」

サポートルーム

明日菜「ヒナギクさん、ホントにすごいわね。」

ナギ「まあ私に劣らぬほどの頭脳明晰だからな。」

管理人「ヒナギクの活躍で、誰も犠牲にならずに第2の扉を開けることに成功！このまま全員脱出となるか！？」

刹「早くしないと、石像が来ますよ！」

木「わかつとるわ。早くいかんと。」

3人は第3の扉にたどり着く。

女ナレ「第3の扉を開けるには、人物名前並び替えクイズに3問正解しなければなりません。」

ヒ「3問ね……。」

女ナレ「第1問、全ての文字を使い、声優の名前になるように並べなさい。」

ろやかしひみ

ヒ「これを並べるのね。ひろみ……、かしや……、そんな人はないわね。」

木「あつ、今聞いてわかったわ。神谷浩史^{かみやひろし}や。」

ヒ「あつホントだわ。」

木乃香はブロックを並べ……、

かみやひろし

カチッ

ボタンを押した。

ピンポーン

正解 神谷浩史

木「次や。」

女ナレ「第2問、全ての文字を使い、アニメキャラの名前になるように並べなさい。」

るええりーわつどくど

ヒ「長いわね・・・。」

木「全然わからへんわ・・・。」

刹「伸ばし棒に小さい『っ』がありますね。」

ヒ「外国人関係かしら?。」

木「2つの『え』と『ど』があるわな。」

ヒ「これをどう使うのかしら?。」

思いうかばない3人。

と、ここで石像がデンジャーゾーンに!

管理人「ここで石像がデンジャーゾーンに!ここで果たして誰が犠牲になるか!?。」

木「やばいわ！もうすぐ石像が来るわ！」

ヒ「どうする！？」

刹「私が行きます！」

木「え、でもせつちゃん……。」

刹「お嬢様を守るための私の使命ですから！」

そして、刹那は石像の所へ行き、

カチッ

刹那が鼻のボタンを押した。

プシューー！

身代わり（桜咲刹那）

プオーーーン

刹那が引きずりこまれようとする。

木「せつちゃん……。」

刹「私の事はかまいません。どうか2人で脱出できるように頑張ってください……。」

木「わかったわ！せつちゃんの為にも頑張るわ！」

刹「ここでおさらばです……。」

ドゴーン

刹那が石像に引きずりこまれ、飲み込まれてしまった。

プシューーーー！

女ナレ「刹那さん、脱出失敗です。」

木「せつちゃん……。」「

――――

サポートルーム

明日菜「刹那さん、食べられちゃった。」

ナギ「これが石像の恐ろしいところだ。」

ハヤテ「これで全員脱出なりませんでしたね。」

――――

管理人「お嬢様を守るなら自分が犠牲になってもかまわないという使命で、即座に身代わりとなった桜咲刹那、脱出しっぱい。」

しかし刹那の犠牲により、3mの余裕が出来た！果たして2人で脱出できるか！？」

ヒ「刹那さんの為にもがんばりましょう。」

木「ああ、せつちゃんの為にもウチらが頑張らんと。」

果たして2人で脱出できるか・・・。

続く

石像の間 その2（後書き）

地下足袋^{じかたび}は、ちょっと難しい言葉だったかな・・・？

石像の間 その3

石像の間で第3の謎に挑む3人。

現在2問目で、刹那が石像の身代わりになって脱出失敗となった。

しかし刹那の犠牲で、石像の3mの余裕が出来た。

果たして2人で脱出することができるか!?

ちなみに問題は全ての文字を使ってアニメキャラの名前に並び替えるだ。

るええりわーつどくど

木「これ誰なんやろ？」

ヒ「えど・・・、あつ、これエドワードになるんじゃない？」

木「あつ、ホンマや。」

ヒ「外国人らしい名前なのは本当みたいね。あとはこの文字で・・・。」

2人は考えて・・・、

ヒ「エドワード・エルリックじゃない？鋼の錬金術師の。」

木「そや！それやわ。」

2人は急いで並べる。

えどわーどえるりつく

ヒナギクはボタンを押す。

カチッ

ピンポーン

正解 エドワード・エルリック（鋼の錬金術師）

木「あと1問や。」

管理人「脱出まであと1問！果たして2人で脱出となるか！？」

女ナレ「第3問。全ての文字を使い、7文字のアニメキャラと3文字の甘い食べ物になるように並べ替えなさい。」

とふさぎえかんきぱた

木「甘い食べ物やて？」

ヒ「誰かしら？」

2人は考える。

ヒ「食べ物を方から考えましょう。」

木「そやな、えーつと・・・。」

ヒ「ぱと小さい『え』・・・、パフェになるんじゃない？」

木「そうや、それや。」

ヒ「あと人の名前ね・・・。」

木「これ誰やろ？」

考えている間に石造が再びデンジャーゾーンに！

管理人「ここで再び石像がデンジャーゾーンに突入！果たして犠牲になるのはどっち！？」

木「あっもう来たわ！」

ヒ「どうするの！？」

木「ウチが行くわ！」

ヒ「ホントにいいの！？」

木「もうヒナギクちゃんに任せたわ！」

木乃香は石像の所へ行き、鼻のボタンを押した。

カチッ

身代わり（近衛木乃香）

プシューーーーーッ！！

ブオーーーン

木乃香は石像に引きずり込まれようとする。

木「これでせつちゃんと一緒にになれるわな……。せつちゃんだけにあんな思いをしなくをしたくはないからな……。」

ヒ「私、あなたの為にもがんばるわね！」

木「ありがとな、さよならや……。」

ドゴーーン！

木乃香は石像に飲み込まれてしまった。

プシューーーッ！

女ナレ「木乃香さん、脱出失敗です。」

サポートルーム

明日菜「木乃香もいなくなっちゃった！」

ハヤテ「あとはヒナギクさんだけですな。」

管理人「近衛木乃香、最後は刹那と一緒にになれることで、満足そうに食べられていき、脱出しつぱーい。

木乃香が犠牲になったことで3mの余裕が出来た！果たしてヒナギクは犠牲になった2人の為にも最後の1問を解くことが出来るか！？」

ヒ「これ2つの言葉には関連性があるからね。えっと、さんた、違うわね・・・、あつこれで『さかた』になるんじゃないかしら？」

懸命に考えるヒナギク。

ヒ「あと4文字、でもこんな名前の人いるかしら・・・ぎん、あつ『ぎんとき』じゃないかしら？坂田銀時。銀さん、甘いもの好きだから。」

ヒナギクがブロックを並べ・・・、

さかたぎんとき　ぱふえ

カチツ！

ヒナギクはボタンを押した！

ピンポーンピンポーン

正解　坂田銀時　パフェ　（銀魂）

そして第3の扉が開く。

ヒ「これを押せば・・・。」

手前の石像停止ボタンを押した。

カチッ！

パオーーーーーン

石像の目の光が消え、止まる。

女ナレ「ステージクリアです。」

脱出成功

ヒ「やったわ……。」

石像が後退する。

サポートルームは拍手が飛び舞う。

明日菜「ヒナギクさん、すごいわね！2人も為にもよくがんばってくれたわ！」

ハヤテ「ホントですね。」

女ナレ「脱出成功、おめでとうございます。」

そして足かせの鍵が出てくる。

ヒナギクは足かせの鍵を開ける。そして脱出口が開く。

女ナレ「2人の犠牲の払いながらも見事石像の間から脱出！ということ
で石像の間、1人分の賞金を獲得！」

3人はサポートルームに戻る。

咲夜「いやあ、ホンマにすごかったわ。」

ヒナギク「私だけの力だけじゃないわ。この2人の力があつたから
脱出できたのよ。」

木乃香「いやあいいこと言うわ、ヒナギクちゃん。」

次は爆弾の間。

爆弾の間 その1

2ndステージは爆弾の間。

挑戦するのは、神楽坂明日菜・宮崎のどか・綾崎ハヤテ・三千院ナギ。

3人は爆弾が仕掛けられた部屋に別々に入れられる。

仲間とのコミュニケーションが重要なナギを握るこのゲームで4人は、うまくチームワークを発揮できるのか・・・。

そして脱出口が閉ざされる。

ガチャン

4人は目隠しを外す。

明日菜「ちょっと、狭いわね、ここ！」

のどか「何なんですか、ここは・・・。」

ハヤテ「お嬢様はどこに・・・。」

ナギ「これか、私達が挑むのは。」

そしてモニターから管理人は現れる。

管理人「ようこそ！爆弾の間へ！ついに挑戦することになりましたね！ナギ。」

ナギ「ああ、私はこの番組のゲームに挑戦することを待ちわびていたぞ。」

管理人「そうですか。本当に楽しみにしていたんだね。

このステージでは爆弾が仕掛けられた4つの部屋にある起爆装置を4人で解除しなければならぬ。

それぞれの部屋には、ニッパと通信機が。この通信機で仲間との会話が可能となる。」

4人は通信機をつける。

管理人「誰がいるかどうか確認してみて。」

明日菜「私、明日菜よ。」

のどか「宮崎のどかです。」

ハヤテ「ハヤテです。」

ナギ「ナギだ。」

ハヤテ「あ、お嬢様、別の方にいたんですね。」

ナギ「当たり前だ、私もハヤテがどこにいるか心配してたぞ。」

明日菜「みんないるわね。」

管理人「みんないるとわかったね。さあ皆さん、この部屋から脱出するためのルールを説明しましょう。この部屋から脱出するためには、爆弾につながっている3つの起爆装置を解除する必要があります。正解と同じ色のコードを切れば解除成功。但し間違ったコードを切ると、その部屋の小型爆弾だけが爆発し、仲間が1人ずつ減つ

ていきます。そして残り2人になった時点で間違ったコードを切ってしまうと、中央の大型爆弾が爆発し、2人同時に大爆発してしまいます。

それからのどちゃん、大丈夫？1人で。」

のどか「大丈夫です。何とか他の人たちとも連絡できていますし・・・。」

管理人「大丈夫みたいだね。それでは皆さん、せいぜい頑張っておくんなさいまし、バイバーイ。」

モニターから管理人が消える。

ウーンウーンウーンウーン

脱出開始

明日菜「何かなったわよ!」

ナギ「もうすぐ始まるってことだな。」

ハヤテ「そうですね。」

そしてモニターに10:00:00と表示される。

明日菜「何これ?」

ピーーーーー

ピッピッピッ

女ナレ「爆破タイマーが作動しました。」

明日菜「始まったってこと？」

ナギ「そういうことだな。」

管理人「このタイマーが0になった瞬間に部屋は大爆発！その前に3つの起爆装置を解除せよ！」

明日菜「これからどうするの！？」

と、下から何か出てくる。

ハヤテ「何か出てきましたよ。」

管理人「下から出てきたのは筒状の起爆装置。筒の上にはOPENの文字が。」

明日菜「これ開けるってことよね？」

4人は起爆装置の蓋を開ける。そして各部屋に色違いのコードが出てくる。

明日菜「私、赤のコードが出てきたわ。」

のどか「私、緑のコードです。」

ハヤテ「僕は青です。」

ナギ「私は黄色だ。」

女ナレ「LEVEL1の問題です。次のうち、サキよみジャンB A N G !のコーナー「VOMIC」で、演じたキャラクターと声優の組み合わせが間違っているものを1つ切りなさい。」

赤・かおちゃん 日笠陽子（カッコカワイイ宣言！）

緑・ウルティモ 中島愛（機功童子ULTIMO）
カラクリどっじ

青・黒子テツヤ 小清水亜美（黒子のバスケ）

黄色・黒神めだか 折笠富美子（めだかボックス）

果たしてこの中で組み合わせが間違っているものはどれか・・・。

続く

爆弾の間 その2

爆弾の間に挑戦する神楽坂明日菜・宮崎のどか・綾崎ハヤテ・三千年ナギ。

今、爆弾解除が始まり、第1問の問題を解こうとしている。

ちなみに問題は、次のうち、サキよみジャンBANGのコーナー「VOMIC」で、キャラクターと演じている声優の組み合わせが間違っているものを1つ切れ!だ。

赤・かおちゃん 日笠陽子(カッコカワイイ宣言!)

緑・ウルティモ 中島愛(機功童子ULTIMO)

青・黒子テツヤ 小清水亜美(黒子のバスケ)

黄色・黒神めだか 折笠富美子 (めだかボックス)

ここからは、明日菜↓明、のどか↓の、ハヤテ↓ハ、ナギ↓ナと省略します。

始まってから30秒経った。

尚、4人にはそのキャラクターの絵が表示されている。読んでいる方は見えないのであしからず。

明「この中でキャラと演じている声優の組み合わせが間違っているもの?」

ナ「これ難しいな・・・。」

ハ「どれでしょうか・・・?」

明「ナギちゃん、ジャンBANG見ている？」

ナ「見ているときはあるが、VOMICの声優まではあまり覚えてはいない。まだアニメ化していないものばかりだからな。」

明「この中でなんか合いそうもない声のキャラっていない？」

ナ「めだかが、折笠富美子？なんか怪しいな。でもルキア演じていると考えたら意外と会う気がすることもない。」

明「黒子が小清水亜美ってなんか怪しくない？亜美ちゃんって少年役やるイメージある？」

ハ「そんな印象ありませんね……。明るい女の子をやりそうなイメージという感じですね。」

ナ「でも意外とクールなキャラを演じることも多いからな。今だったら少年役もできそうな気がする。」

ハ「そうですか、それからかおちゃんが日笠さんというのは？」

ナ「彼女はけいおんの漣のようにクールで男まさりな役を演じることが多いが、最近だったかもしれないドラのみなみとかキャラの幅が広い。」

明「日笠さんって、ハイテンションで無茶振りに乗って、周りから芸人と呼ばれているという話あるじゃない？それだったら、彼女にこういうキャラの役できそうじゃない？」

ナ「ああ、それ異論はない。」

明「それから本屋ちゃん、あまりこのことに参加していないけど、あんたこの問題わかる？」

の「いや・・・、あんまりこれはわかりません・・・。」

明「あ、わからないんだ。余計な事聞いちゃってごめんね。」

ハ「最後にウルティモの中島愛というのは・・・。」

明「マクロスFでランカ演じたよね？」

ハ「でも彼女、声優活動多いとはいえませんよね？」

ナ「こういう時にその番組の企画ものに出れるなんてそう多いものではないからな。だから演じていてもおかしくない。」

明「全くわからないわね。」

ハ「お嬢様は何だと思います？」

ナ「私はな、1番怪しいと思うのは黒子だと思うのだ。」

明「なんでそう思うの？」

ナ「確かにあみつけは、少年役やつてもおかしくないが、黒子は合わないと感じる気がする。」

明「誰が演じていたと思ったの？」

ナ「私はな、三瓶由布子あたりだったら合う感じがするな。」

ハ「黒子は青ですよ。僕、青ですよ。」

明「ということは、ハヤテが切ることになるわね？」

ナ「これ間違っていたら、ハヤテがいなくなることになるんだな？」

ハ「でもなんか不安ですよ。黒子が間違いとはあまり思っていないせんし。」

ナ「じゃあ、ハヤテは何だと思うのだ？」

ハ「全く・・・、予想でしたらめだかの方でしょうか？」

ナ「これ間違えてたら私爆発するんだぞ？」

ハ「あ、そうですね・・・。」

明「じゃあ、黒子にする？本屋ちゃん、どう？」

の「わかりませんが、それだったらそれでいいんじゃないんですか？」

明「じゃあそれで決まりね！」

ナ「ハヤテ、じゃあ切れ！」

ハ「僕自身ありませんけど、もう時間なくなりそうですからじゃあ切ります。」

ナ「早く切れ！」

ハ「じゃあ、青切ります！」

時間は6分10秒となった時点でハヤテは青のコードを切るつもり。

チヨキン

青のコードを切った。

管理人「ここでハヤテが青のコードをカット！間違えていたら、ハヤテの部屋のみ爆発してしまう！果たして！？」

ドッカーン！

ハ「わあああ！」

爆発した。

ナ「間違っていたか!？」

サポートルーム

木乃香「あーっ違ってたわあ。」

ヒナギク「ハヤテくん、ここで終わりってこと!？」

明「ハヤテ、ここで終わったの!？」

ハヤテへの通信が途切れる。

女ナレ「ハヤテさん、脱出失敗です。」

管理人「不幸体質が災いしたのか、ナギの言うとおりに切るもあえなく爆破!綾崎ハヤテ、脱出しっぱい。」

ナ「じゃあ何だ？」

明「めだかしら？」

の「どうしよう?。」

ナ「めだかは予想だと、五分五分だな・・・。」

明「私ね、まめぐさんのウルティモが違うと予想するわ！」

ナ「その根拠は何だ？」

明「確かにこのウルティモの顔見て、まめぐさんがやつてもおかしくないイメージはあるけど、裏の裏を読んで、実は違う人とか・・・」

ナ「じゃあそれにするか！」

の「緑、私ですよ？」

明「そうよ、なんか反論ない？」

の「ないというか、あまり漫画や声優についてはわかりませんし、あなたたちがそう言うのだったら・・・」

ナ「じゃあ早く切れ！」

時間が残り5分になろうとする。

の「わ、わかりました、切ります！」

のどかが緑のコードを切ろうとする。

チヨキン

切った。

管理人「本はわかっていても、漫画のことがわからないのどかが、言われるがままに緑のコードをカット！果たして!？」

ドッカーン！

の「きゃあああ！」

爆発した。

明「ああ違っていたの？」

木乃香「本屋もいなくなっただわ！」

咲夜「これまずいのちゃうか!？」

夕映「のどか……。」

のどかへの通信が途切れる。

女ナレ「のどかさ、脱出失敗です。」

管理人「全然わからないまま、切った結果、爆発という気の毒な宮崎のどか、脱出しっぱい。」

早くも2人になってしまった。ここからは間違ったコードを切ると2人同時爆破！果たして2人の運命は！？」

明「本屋ちゃんもなくなっちゃったわよ！どうする！」

ナ「じゃあめだかの方だな。」

明「それでいいの！もし間違っていたら・・・。」

ナ「多分これが正解だと思っている！今考えると折笠さんはこういうキャラを演じるのは少し無理がある気がする！」

明「じゃあ、それで決まりね！」

ナ「じゃあ私黄色切るぞ！」

ナギは黄色のコードを切ろうとする。

チヨキン

ピンポン

正解

女ナレ「正解です。」

明「合ってたわね。」

解説 黒神めだかを演じたのは豊口めぐみ。

ヒナギク「やっと1問正解ね。」

木乃香「明日菜、がんばってくれや。」

夕映「明日菜さん、のどかの為にもがんばるです。」

2人は1つ目の起爆装置の蓋を閉める。

女ナレ「次の起爆装置を解除してください。」

ナ「時間が4分になるな。」

明「他の2人の為にも脱出しないと。」

管理人「ようやく1つ目の起爆装置を解除に成功した2人。残る起爆装置はあと2つ！残り時間が4分になってるぞ！急げ！」

果たして2人は脱出することが出来るか・・・。

続く

爆弾の間 その3

爆弾の間で見事1つ目の起爆装置を解除した挑戦者たち。

しかし、ハヤテとのどかが脱出失敗となり、明日菜とナギのみで爆弾解除をすることになった。

果たして、2人は脱出することはできるか・・・。

女ナレ「次の起爆装置を解除してください。」

2つ目の筒状の起爆装置が出てくる。

この時点で残り4分を切った。

明「早く開けなきゃ。」

2人は蓋を開ける。

明「また赤出てきたわ。」

ナ「こっちもまた黄色が出てきたな。」

女ナレ「LEVEL2の問題です。次のうち、小説『心霊探偵 八雲』で登場する人物を1つ切りなさい。」

赤・七瀬美雪 黄色・毛利蘭

明「この中に登場する人物がいる？これってどっちも探偵漫画に登場するヒロインじゃないの!？」

ナ「でも誰かがその名前で登場するということだな。」

管理人「選択肢はどれも探偵漫画に登場するヒロインの名前。しかしどちらかは、『心霊探偵 八雲』にその名前の人物が登場する。果たしてどれだ!？」

明「ああ、こんな時に本屋ちゃんがいてくれたら……。本屋ちゃん、こういうのには詳しいから。」

明日菜はのどかを脱出失敗にさせたことに後悔しているようだ。

そのとき、ナギがちょっと思い当たることを言う。

ナ「なあ明日菜、私、七瀬美雪の名前の由来は知らないが毛利蘭の方は由来を知ってる。」

明「え、どうということ?」

ナ「毛利蘭の名前の由来はな、アルセーヌ・ルパンの原作者のモリス・ルブランから来てるのだ。」

明「え、え?」

明日菜はおバカなので、そういうことはあまりわからない。

ナ「これは青山先生が考えたものなのだ。でも八雲の作者がその由来を考えて、つけたかなのだ。」

明「でもそのまま、流用したということも考えられるじゃない?」

ナ「それも考えられるが、この作者がパクってつけたかというのは考えにくい。それからコナンファンの情報からも、八雲に毛利蘭と同じ名前に人物が出てるぞという、そんな情報は全くない。」

明「じゃあ、七瀬美雪の方が正解ってこと？」

ナ「多分、それだと思うな。七瀬美雪なら多分、作者は考えそうだな。」

明「私そんなこと、全くわからないけど、じゃあ赤切ってみるわ！」

ナ「多分それだ！」

明「じゃあ切るわよ！」

明日菜は赤のコードを切ろうとする。

チヨキン

切った。

ピンポーン

正解

明「合つてたみたいね！」

ナ「な！」

解説・七瀬美雪　八雲の姉を名乗る謎の女。殺人犯として逃亡中。

女ナレ「2つ目の起爆装置解除成功です。」

この時点で残り時間2分となった。

2人は蓋を閉める。

管理人「ナギのおかげで、2つ目の起爆装置の解除することが出来た2人。残り2分を切っているぞ！果たして2人は脱出できるか！？」

女ナレ「次の起爆装置を解除してください。」

3つ目の起爆装置が出て、2人は急いで蓋を開ける。

明「また、同じ色よ。」

ナ「こつちも同じ黄色だ。」

女ナレ「LEVEL3の問題です。次のうち、最もシングル曲を多く出したグループを1つ切りなさい。（7月31日現在）」

赤・スフィア　黄色・放課後ティータイム

女ナレ「ちなみに放課後ティータイムは、桜高軽音部時代のシングルを含みます。」

明「え！？どっち！？」

ナ「待て、今考える。」

ナギは考える。

ナ「スフィアは最近シングルを出したな。結成3年目のハズだから、相当シングルを出しているハズだ。けいおんは2期あったな。2期目は2クールだったから……。」

ナギは考え……、

ナ「OPとEDは別々に売られていたから、6枚だったハズ……。」

「

明「じゃあ、スフィアってことね！？」

ここで、

女ナレ「爆破まで残り1分です。」

明「じゃあ私切るわね！」

ナ「多分そうだったハズだが……。」

明「じゃあ切るわよ！」

明日菜は赤のコードを切ろうとするが、ナギがここで重大なことに気づく！

ナ「（はっ、待てよ！挿入歌もあったはずだ！1クール1枚と考え
ると・・・、しまった！）待て明日菜！切るのやめろ！」

チヨキン

明「え？もう切っちゃったわよ。」

ナ「何い！？」

ナギが制止しようとしたが、もうすでに明日菜はコードを切っていた。

管理人「後になってナギが答えが違うと考えた時、明日菜はすでに赤のコードを切ってしまった！一体どうなる！？」

ドッカーン！！

2人同時に部屋が爆発した。

明「きゃあああ！！」

ナ「わああああ！」

――――

木「ああ、爆発してもうた・・・。」

ヒナギク「なぜ急いで切っちゃったの。」

咲「こりゃ、何も言えんわ。」

――――

脱出失敗

女ナレ「明日菜さんとナギさん、脱出失敗です。ちなみに只今の問題の正解は放課後ティータイムでした。」

スフィア 8枚 放課後ティータイム 9枚

管理人「というわけで、爆弾の間からは1人も脱出出来ず！よって獲得賞金も0！」

4人はサポートルームに戻る。

ナギ「なぜ、切ったのだ！」

明日菜「あんたが、スフィアが多いと言ったからでしょ！」

ナギ「だが、切れとは言っていないぞ！時間もまだ考える余裕はあつ

たハズだぞ。」

爆弾の間の件で2人はケンカしていた。

木乃香「明日菜の猪突猛進な性格が、脱出できなかった災いとなつたわな。」

そこに管理人が現れる。

管理人「いやあ、あのステージ、明日菜とナギが言い合っているのがほとんどで、他の2人が仲間外れな感じだったね。」

ハヤテ「もうこっちも今ケンカ止めるのが大変なですよ。」

管理人「のどかはどうだった？」

のどか「あんまり力になれなくてすいませんでした。」

夕映「のどか、気にするでないです。次で頑張ればいいです。」

次は遺跡の間。

遺跡の間 その1

3rdステージは遺跡の間。

挑戦するのは、神楽坂明日菜・綾瀬夕映・西沢歩の3人。

3人が目隠しをされたまま入れられるのは、長さ2m、幅60cmの石の小部屋に入れられる。

バカレンジャー2人とハヤテの中では唯一の一般人である西沢はこのステージを脱出することができるのか・・・。

そして小部屋の脱出口がロックされる。

ガチャン

3人は目隠しを外す。

明日菜「これまた狭い所に連れていかれたわねー。」

夕映「ここ狭すぎます。」

西沢「なんか足に鎖が・・・。」

3人は両足に何やら鎖が繋がれている。

そしてモニターから管理人が。

管理人「ようこそ、遺跡の間へ！」

明日菜「ちょっと、ここ何なのよ。一体何が始まるというのー！」

管理人「まだこの状況がわからない？それではこの部屋の仕掛けを

体験していただきましょう。ポチツとな！」

管理人がそういうと何やら音が・・・、

西沢「えっ、何ですか!？」

ギギギギギ・・・

明日菜「ちょっと、何これ!床が開いていくじゃない！」

3人の床が少し開いていった。

夕映「これがこのステージの醍醐味ということですね。」

西沢「これもし落ちたら・・・。」

管理人「そう!この遺跡の間は、小部屋の床がどんどん開いていき、自分の体が支えきれなくなってしまうと、背中から奈落の底へ落っこちてしまう！」

明日菜「これハンパなく高いわよ!」

夕映「落ちたら大変ですね。」

――――

サポートルーム

木乃香「うわー怖そうやなー。」

ハヤテ「あれはすごい仕掛けですね。」

ナギ「私だったら、耐える自身はないな。」

のどか「ゆえゆえ脱出してほしいです。」

――――

管理人「この部屋から脱出するためには、これから出される常識問題に対し、3人連続正解を3回達成しなければなりません。制限時間は1問につき5秒。答えは1つだけしか受け付けません。そして誰かが不正解の場合、それまでの正解数がリセットされ、間違えた人の床のみ1段階のみ開きます。不正解になるたびに、床がどんどん開いてしまいますので、床から落ちる前に3人連続クイズに正解して、脱出を目指してくださいね。」

バカレンジャーの明日菜と夕映にはこれステージは荷が重いかな？」

明日菜「ふ、ふん！出来ることはやっていくまでよ！」

管理人「頼りになるのは西沢さんだけだね？」

西沢「私も足を引っ張るかもしれないので……。でもチームのために頑張ります。」

管理人「さあそれでは皆様、幸運を祈ります！バイバイ。」

モニターから管理人が消える。

ウーンウーンウーンウーン

脱出開始

夕映「始まりましたよ。」

ここからは、明日菜↓明、夕映↓夕、西沢↓西と省略します。

女ナレ「3人連続クイズ、最初は明日菜さんからの3問です。ファーストクエスチョン。」

明日菜 1 夕映 2 西沢 3

問題・アメリカ合衆国の州の数は全部でいくつ？

明「え・・・、65？」

ブーッ

女ナレ「ただいまの問題の正解は50でした。」

明「そんなのわかるわけじゃない！」

女ナレ「明日菜さん、不正解だったため、床が第1段階まで開きません。」

神楽坂明日菜の床 第1段階開放

ギギギギギ・・・

明「きゃああ！すごい開く！」

床が開いていく。そして止まる。

明「これ、意外と開くわよ！」

西「かなり開くみたいだね。」

女ナレ「3人連続クイズ、夕映さんからの3問です。ファーストクエスチョン。」

明日菜 3 夕映 1 西沢 2

問題・電気の単位でVはボルト、ではAは？

タ「ん・・・、アンプ？」

ブーッ

女ナレ「ただいまの問題の正解は、アンペアでした。」

タ「そういうことですか・・・。」

女ナレ「夕映さん、不正解だったため、床が第1段階まで開きます。」

綾瀬夕映の床 第1段階解放

ギギギギギ・・・

タ「うわ、開くです・・・。」

そして床開放が止まる。

タ「ホントにこれ開きますね。」

明「ね、そうでしょ！」

女ナレ「3人連続クイズ、西沢さんからの3問です。ファーストクエスチョン。」

明日菜 2 夕映 3 西沢 1

問題・元素記号「Zn」は何を表すでしょう？

西「・・・亜鉛・・・かな？」

ピンポン

女ナレ「正解です。続いて、明日菜さんへのセカンドクエスチョン。」

問題・干支で『子^ね』の次は『丑^{うし}』、では『辰^{たつ}』の次は？

明「え、何！？わかんない！猫？」

ブーッ

女ナレ「ただいまの問題の正解は、巳^みでした。」

明「だからそんなのわからないわよ！」

女ナレ「明日菜さん、不正解だったため、床が第2段階まで開きません。」

神楽坂明日菜の床 第2段階開放

ギギギギギギ・・・

明「きゃあ！また開くわよ！」

そして床開放が止まる。明日菜は根性で体を支えようとする。

明「これもう落ちてもおかしくない状況よ！」

夕「明日菜さん、がんばるです。」

女ナレ「3人連続クイズ、夕映さんからの3問です。ファーストクエスチョン。」

明日菜 3 夕映 1 西沢 2

問題・ことわざで、思いきった決断をすることを「何の舞台から飛び降りる」でしょう？

夕「これはわかります。清水の舞台から。」

ピンポン

女ナレ「正解です。続いて西沢さんへのセカンドクエスチョン。」

問題・日本で1番北にある県は？

西「県だよな？青森県。」

ピンポン

女ナレ「正解です。続いて明日菜さんへのラストクエスチョン。」

問題・日本女子サッカーチームの通称は、『何』ジャパン？

明「なでしこジャパン！」

ピンポン

女ナレ「3人連続正解、1ポイント獲得です。」

明「やったわね！」

夕「まず1ポイントです。」

サポートルーム

木乃香「まずは1ポイントや。」

ヒナギク「次もこの調子で行きたい所ね。」

管理人「ここで初めて3人連続正解！脱出まであと2ポイント！果

たしてこの調子で次のポイントも獲得となるか!？」

女ナレ「3人連続クイズ、夕映さんからの3問です。ファーストクエスチョン。」

明日菜 3 夕映 1 西沢 2

問題・世界遺産にもなっている広島宮島にある神社は何？

夕「厳島神社。」

ピンポン

女ナレ「正解です。続いて西沢さんへのセカンドクエスチョン。」

問題・面積の単位で、 1ha は、何a？
ヘクタール アール

西「え、わからない・・・、10？」

ブーッ

女ナレ「ただいまの問題の正解は、100aでした。」

西「私、数学系は苦手なんで・・・。」

女ナレ「西沢さん、不正解だったため、床が第1段階まで開きます。」

西沢歩の床 第1段階開放

ギギギギギギ・・・

西「ああつ、開くねこれ・・・。」

そして床開放が止まる。

明「意外と開いたでしょ？」

西「その通りでしたね。」

全員、床が開いた状態だ。

果たして脱出できるか・・・。

続く

遺跡の間 その2

遺跡の間に挑戦中の明日菜と夕映の西沢の3人。
現在1ポイント獲得。脱出まであと2ポイント。
夕映と西沢が床開放が第1段階、明日菜は第2段階。
果たしてこの調子で脱出することができるか・・・。

女ナレ「3人連続クイズ、明日菜さんからの3問です。ファーストクエスチョン。」

明日菜 1 夕映 2 西沢 3

問題・英語で「The day after tomorrow」は日本語でいつのこと？

明「何よこれ、わかんない。明日の午後？」

ブーッ

女ナレ「ただいまの問題の正解は、明後日あしたでした。」

明「ああ、そういうことね・・・。」

明日菜は、ああそうかという顔をする。

女ナレ「明日菜さん、不正解だったため、床が第3段階まで開きません。」

神楽坂明日菜の床 第3段階開放

ギギギギギギ・・・

明「うう・・・、何のこれしき・・・。」

床開放が止まる。

落ちてもおかしくない状況で、明日菜は持ち前の運動神経と体力で耐えた。手で床にしっかりとしがみつく。

夕「明日菜さん、耐えました？」

明「脱出のためにまだ落ちるわけにはいかないのよ！」

サポートルーム

木乃香「おお、明日菜やっぱり耐よかったなー。」

ハヤテ「女子であればすごいですよ。」

管理人「明日菜、もう落ちてもおかしくない状況で、持ち前の運動神経と体力でなんとか耐えた！果たしてこのまましのげるか！？」

女ナレ「3人連続クイズ、夕映さんからの3問です。ファーストクエスチョン。」

明日菜 3 夕映 1 西沢 2

問題・昔話「一寸法師^{いっすんぼうし}」で一寸法師は、何によって体が大きくなつた？

タ「打ち出の小槌^{こづち}。」

ピンポン

女ナレ「正解です。続いて、西沢さんへの、セカンドクエスチョン。」

問題・テニスの試合で、40VS40になることを何という？

西「デュース。」

ピンポン

女ナレ「正解です。明日菜さんへのラストクエスチョン。」

問題・アメリカの巻き寿司、「カリフォルニアロール」には、どんな果物が入っている？

明「え、えーと・・・、パイナップル？」

ブーッ

咲夜「何でパイナップルや！」

ナギ「これは私もあきれる回答だぞ。」

――――

女ナレ「ただいまの問題の正解は、アボカドでした。」

明「あ、そうそう！」

女ナレ「明日菜さん、不正解だったため、床が第4段階まで開きません。」

神楽坂明日菜の床 第4段階開放

ギギギギギギ・・・

明「あつ、これもうやばいわよ！」

明日菜は必死で耐えようとするが・・・、

明「きゃあー！」

とうとう耐え切れず、落ちてしまった。

西「明日菜さん、落ちたんですか・・・？」

夕「落ちたそうですね・・・。」

――――

木乃香「あーっ、明日菜とうとう落っこちてもうた。」

ハヤテ「あんなに耐えましたのにね・・・。」

――――

管理人「神楽坂明日菜、持ち前の体力で粘るも、とうとう奈落の底に落下！脱出しっぱい。」

ここで2人となつてしまった。ここからは2人で3問連続正解を目指すさなければならない。」

女ナレ「3人連続クイズ、続いては、夕映さんからの3問です。フアーストクエスチョン。」

夕映 1・3 西沢 2

問題・ライトノベル「涼宮ハルヒシリーズ」で涼宮ハルヒが結成した団の名前は？

タ「SOS団。」

ピンポーン

女ナレ「正解です。続いて西沢さんへのセカンドクエスチョン。」

問題・医学書「解体新書」を書いたのは？

西「えーっと、何だっけ・・・。」

ブーッ 時間切れ

西「あつ、今思い出した。杉田玄白だった。」

女ナレ「ただいまの問題の正解は、杉田玄白でした。」

西「夕映さん、ごめんなさい。」

夕「まあ、そういうこともあるです。」

女ナレ「西沢さん、不正解だったため、床が第2段階まで開きます。」

西沢歩の床 第2段階開放

ギギギギギギ・・・

西「またどんどん開いていく・・・。」

床開放が止まる。

夕「大丈夫ですか？」

西「とりあえずは大丈夫そうですが、でももしかしたらと思うとわかりませんね・・・。」

なんとか耐えようとする西沢。

女ナレ「3人連続クイズ、夕映さんからの3問です。ファーストク

エスチョン。」

夕映 1・3 西沢 2

問題・2016年、オリンピックが開催される都市は？

タ「んー・・・、リオ、リオネ何・・・。」

ブーツ 時間切れ

女ナレ「ただいまの問題の正解は、リオデジャネイロでした。」

タ「そうです！そうです！」

女ナレ「夕映さん、不正解だったため、床が第2段階まで開きます。」

」

綾瀬夕映の床 第2段階開放

ギギギギギ・・・

タ「なんかもうやばい状況です・・・。」

そして床開放が止まる。しかし体が小さいため、落ちそうな感じである。

タ「落ちるかもしれないです・・・。」

のどか「夕映、大丈夫かな・・・？」

西「とりあえず、次の問題がんばろ。」

タ「わかったです。」

女ナレ「3人連続クイズ、西沢さんからの3問です。ファーストクエスチョン。」

問題・テクノポップユニット「Perfume」のメンバーは、かしゅか・のっちとあと1人は？

タ「あーちゃん。」

ピンポーン

女ナレ「正解です。続いて、夕映さんからのセカンドクエスチョン。」

問題・「アラフォー」を略せずに言つと？

タ「アラウンドフォーティー。」

ピンポーン

女ナレ「正解です。続いて、西沢さんからのラストクエスチョン。」

問題・ボウリングでパーフェクトを出した場合、スコアは何点となる

るでしょう？

西「えーっと・・・、300点かな？」

ピンポン

1ポイント獲得

女ナレ「正解です。1ポイント獲得です。」

西「あと1ポイントだね。」

西沢がそう言ったとき・・・、

タ「あつ、もうダメです・・・。」

夕映の体が支えきれなくなり、とうとう落ちてしまった。

西「夕映ちゃん・・・。」

木乃香「あー、夕映も落ちてしまったわ！」

のどか「夕映・・・。」

のどかは夕映が落ちたことでショックのようだ。

女ナレ「夕映さん、脱出失敗です。」

管理人「綾瀬夕映、2ポイント取ったものも、小さな体が災いしたのか、とうとう奈落の底へ！脱出しっぱい。」

残りは西沢のみ。あと1ポイントである。果たして他の2人のために脱出できるのか・・・。

続く

遺跡の間 その3

遺跡の間で2ポイント獲得し、脱出まであと1ポイントとなった。しかし、明日菜と夕映が奈落の底へ落ち、残るは西沢のみとなった。果たして西沢は脱出できるか・・・。

管理人「ここからは、西沢1人のみで、3問連続正解を目指さなければならぬ。果たして!？」

西「もう私しか答えられないってことよね？」

女ナレ「3人連続クイズ、西沢さんからの3問です。ファーストクエスチョン。」

問題・アニメ「銀魂」で真選組の局長は近藤勲。では副局長は？

西「えっと確か土方・・・、十四郎かな？」

ピンポン

女ナレ「正解です。セカンドクエスチョン。」

問題・シアトルマリナースのイチローの背番号は何番？

西「何番だっけ？50番？」

ブーッ

女ナレ「ただいまの問題の正解は51番でした。」

西「あー惜しかったあ・・・。」

咲夜「これはさすがにヤバイとちゃうか!？」

ナギ「いや、あいつなら耐えると感じる・・・。」

女ナレ「西沢さん。不正解だったため、床が第3段階まで開きます。」

西沢歩の床 第3段階開放

ギギギギギ・・・

西「あつ、これ本当にやばい感じがする・・・。」

そして床開放が止まる。

西「ん~~~~!」

なんと耐えた!

ハヤテ「西沢さん、耐えましたね!」

ナギ「な、言った通りだっただろ？」

木乃香「あそこまで耐えるなんてすごいわあ。」

――――

管理人「西沢、なんとここで落ちる危険大の第3段階開放の床を必死の根性で耐えた！ここで奇跡の脱出はあるか！？」

西「あの2人のためにも私が脱出しないと・・・。」

女ナレ「3人連続クイズ、西沢さんからの3問です。ファーストクエスチョン。」

問題・アメリカとロシアが起こした戦争は、何戦争？

西「えっと、日露戦争。」

ピンポーン

女ナレ「正解です。セカンドクエスチョン。」

問題・アニメ「ONE PIECE」で麦わら海賊団の船医は？

西「チョッパー。」

ピンポーン

女ナレ「正解です。ラストクエスチョン。」

問題・ことわざで、「早起きは『何』文の得」？

西「えー・・・、3文かな？」

ピンポーン

女ナレ「ステージクリアです。」

脱出成功

西「や、やったあ！」

ハヤテ「スゴイですね！西沢さん！」

ヒナギク「あそこまで開いて脱出すること自体、奇跡よね！」

サポートルームには拍手が飛び舞う。

女ナレ「床が元に戻ります。」

床が元に戻る。

西「落ちていったかった明日菜さんと夕映さん、そして応援していたハヤテくん、私脱出できたよ。」

そして脱出口が開く。

ガチャン

西沢は石の小部屋から出る。

管理人「西沢に必死の粘りで最後のポイントを獲得し、見事に脱出成功。このステージ、1人分の賞金を獲得！」

3人はサポートルームに戻る。

管理人「いやあ西沢さん、すごいんじゃない？よくあんなに開いた状態で脱出できるなんて。」

西沢「私はみんなのためにやりましたので。」

管理人「明日菜も第3段階で耐えたね。まあ正解したのは1問だけだけ。」

明日菜は恥ずかしそうな顔で、

明日菜「悪かったわね！」

他の出演者たちが笑う。

次は砂の間。

砂の間

4thステージは砂の間。

挑戦するのは西沢歩。

遺跡の間で奇跡的な脱出を果たした彼女は、果たしてこのステージも脱出となるか！？

そして脱出口が閉ざされる。

ガチャン

西沢は目隠しを外す。

西沢「なんか砂がいつぱいだなあ。」

そして管理人が現れる。

管理人「ようこそ、砂の間へ！西沢さん、このステージも脱出できる自身ある？」

西沢「きつと頑張れば大丈夫と思うかな？」

管理人「やっぱりハヤテにエール送られてるから脱出できるんじゃないのかな？」

西沢「まあハヤテくんも応援もあるかもしれないね。」

サポートルーム

ハヤテ「僕の応援があるから脱出できる。」

ナギ「ふん・・・！」

この話にナギは気に入らなそうな顔をする。」

管理人「それでは、中にお入りください！」

西沢は砂の中に入る。そして同時に跳ね橋が上へ上がり、もう戻れなくなる。

管理人「このステージで出されるクイズは、出題される6つのヒントからそれが何かを当てるというもの。体が全て埋まる前に4問正解すれば脱出成功となる。」

無理に体を動かそうとすると、体が早く沈んでしまうので注意。

ウーンウーンウーンウーン

脱出開始

女ナレ「体が沈みはじめます。」

西沢「あつ体が・・・。」

西沢の体が沈み始める。体が埋まるまで80cm、その間に4問正解できなければ脱出失敗となる。

管理人「さあここでスタート！全部埋まる前に4問正解せよ！」

西沢「問題まだ？」

女ナレ「最初のクイズです。私は誰でしょう？」

1989年10月21日生まれです。

西沢「1989年ってことは、竹達彩奈ちゃん？」

ブーッ

2008年に今の芸名に改名しました。

西沢「前は芸名が違ってたこと？誰なんだろう？」

2年連続で武道館公演を行いました。

西沢「それって歌手？誰だったかな1989年生まれで……。」

ホリプロに所属しています。

西沢「あつ、May・nさん。」

ピンポーン

女ナレ「正解です。答えはMay・nさんでした。」

その他ヒント

ファンからは「部長」と呼ばれています。
シェリル・ノームの歌唱パートを担当。

体が埋まるまで64cm。

女ナレ「続いての問題です。私は誰でしょう？」

12月24日生まれのO型です。

西沢「いっぱいいてわからないな。」

最初はアメリカに住んでいました。

西沢「それ誰？アメリカ人？日本人？」

ファンタをよく飲みます。

西沢「ファンタをよく飲む・・・？あつ、越前リョーマくん！」

ピンポン

女ナレ「正解です。答えは越前リョーマでした。」

その他ヒント

声を担当しているのは皆川純子

中学1年生で部活レギュラーを獲得

口癖は「まだまだだね」

体が沈むまで、残り53cm。

女ナレ「続いての問題です。私は誰でしょう？」

1989年2月25日生まれです。

西沢「また平成生まれ……。竹達彩奈ちゃん。」

ブーッ

子役として活動していました。

西沢「平野綾ちゃんかな？」

ブーッ

西沢「それとも悠木碧ちゃん？」

ブーッ

天然パーマです。

西沢「天然パーマの声優って誰がいたかな？」

川澄綾子さんの勧めで、声優業を本格的に活動しました。

西沢「えっと、あっ思い出した、花澤香菜ちゃん！」

ピンポン

女ナレ「正解です。答えは花澤香菜さんでした。」

その他ヒント

代表作に「ゼーガペイン」「Angel Beats!」「IS＜インフィニット・ストライズ＞」
その他には「こぼと」「化物語」「STEINS；GATE」

体が埋まるまで36cm。

管理人「余裕の正解が続き、残りあと1問でリーチをかけた！次の問題で決められるか!？」

西沢「あと1問、冷静に答えないと・・・。」

女ナレ「続いての問題です。私は誰でしょう?」

私が登場したのは、2007年8月31日です。

西沢「え、どういうこと?」

何のことだかさっぱりわからない。

年齢は16歳、身長は158cmです。

西沢「誰だろ?らきすたのあきらちゃん?」

ブーッ

私の声を担当しているのは藤田咲さんです。

西沢「咲ちゃんって、どんな代表作があったかな・・・？」

2009年に携帯ゲームデビューしました。

西沢「え、え？」

混乱する西沢。

ニコニコ動画で大人気です。

西沢「あつ、確か・・・。」

思い出そうとする。

ボーカロイドです。

と同時に西沢は思い出す。

西沢「初音ミク！」

ピンポンピンポン

女ナレ「正解です。ステージクリアです。」

西沢「やったよ、ハヤテくん・・・。」

サポートルームも歓声が広がる。

明日菜「やったわ！」

ハヤテ「やりましたね、西沢さん。」

――――

女ナレ「脱出成功、おめでとうございます。」

命の綱が降りてくる。

女ナレ「それでは、命の綱に捕まって脱出してください。」

西沢は命の綱を手取る。そして同時に跳ね橋が下りてくる。

そして脱出口が開く。西沢は跳ね橋に乗り、外へ出る。

管理人「早い段階での正解が続いたことで、見事脱出成功した西沢歩。よって1人分の賞金を獲得！」

西沢はサポートルームに戻る。

管理人「西沢さん、あざやかな正解が出まくりだったね。」

西沢「パツと思ひ浮かんだら出てきたものばかりだったからね。」

管理人「やっぱりハヤテが応援してくれるから頑張れるんじゃないの？」

ハヤテ「そんなことはありませんよ。まあ心の中で応援はしてしましたけど。」

管理人「やっぱりそうじゃん！ところでナギ、さっきからムツしてるけど。」

ナギ「べ、別になんでもない！」

ナギはやはり、ハヤテと西沢の事を気にして、ごく機嫌ななめのようなのだ。

次は棒の間。

棒の間 その1（前書き）

久々に投稿になりました。
遅くなつてすいません。

棒の間 その1

5thステージは棒の間。

挑むのは、近衛木乃香・桜咲刹那・綾崎ハヤテ・三千院ナギ・桂ヒナギク・愛沢咲夜。

果たして何人が脱出できるか！？
そして脱出口が閉ざされる。

ガチャン

6人は目隠しを外す。

ナギ「ほう、これが。」

ヒナギク「ここで何をするというの・・・？」

ハヤテは3本あるトイレのスッポンを見て、

ハヤテ「これトイレのスッポンですね。持つといたほうがいいですよ。」

刹那「わかりました。」

ハヤテの刹那に1本のスッポンを渡す。

ウーンウーンウーンウーン

脱出開始

木乃香「あ、音が鳴ったわ。」

咲夜「何か起こるんちゃうのか!？」

そして3本の棒が現れる。

同時に床がなくなっていく。

木乃香「うわっ、床がなくなってくわ!」

ハヤテ「早く棒へ乗ってください!」

そして6人は棒に乗る。

順番は左から、

前 木乃香 後ろ 刹那

前 咲夜 後ろ ヒナギク

前 ハヤテ 後ろ ナギ

ハヤテ「咲夜さん、スッポンです。」

ハヤテは咲夜にスッポンを渡す。

咲夜「あ、すまん。」

ヒナギク「これ怖いわ……。」

ヒナギクは高所恐怖症であるため、高さに怯える。

ナギ「ハヤテ、それをこっちに渡せ。」

ハヤテ「は、はい……。」

ハヤテはナギにスッポンを渡す。

そして管理人が現れる。

管理人「ようこそ、棒の間へ！木乃香、ここにいてどう感じる？」

木乃香「ちょっと怖いけど、せっちゃんと一緒にやから心地よく感じるわ。」

管理人「そうですか、そしてハヤテとナギ、やっぱり2人いた方が心地よく感じる？」

ナギ「当たり前なのだ。ハヤテと一緒にいた方が心地いいのだ。」

管理人「やっぱりね。ところでヒナギク、かなり怖がってるけど。」

ヒナギク「今は声かけないで……。」

咲夜「ヒナギクはんに声かけんな！」

管理人「あ、すみませんね。」

ルールは全員で9問正解すれば脱出成功。パスは2回まで。

管理人「それでは皆さんがんばってくださいね、バイバイと。」

モニターから管理人が消える。

女ナレ「では、最初のクイズ、スタートです。まずは、漢字を使っているものを表現した、漢字イラストクイズです。木乃香さんへの問題です。この漢字イラストは、何を表しているのでしょうか？」

尚、ここからは、木乃香↓木、刹那↓刹、ハヤテ↓ハ、ナギ↓ナ、ヒナギク↓ヒ、咲夜↓咲と省略します。

手 顔 手

手 首 手

甲 甲 甲

甲 甲 甲 甲 甲

甲 甲 甲 甲 甲

甲 甲 甲 甲 甲

甲 甲 甲

足 尾 足

足 尾 足

答えられないと棒は縮んでいく。

管理人「漢字であるものを表現した漢字イラスト。文字を物に変換して考えて。」

木「これわかるわ。亀。」

ピンポン

ブーッ

咲「画面に筆に十字？」

ヒ「早く答えて、あるいはパスでも……。」

ヒナギクは縮んでいく棒を恐れながら咲夜に言う。

咲「パスや、パス！」

咲夜はパスを使う。

咲「なんやコレ!？」

木「ウチも思い浮かばなかったわ。」

女ナレ「ただいまの問題の正解は、ニンテンドーDSでした。」

咲「ああっ、なるほどな！」

咲夜は関心する。

女ナレ「咲夜さんとヒナギクさんの命の棒、残り123cmです。」

咲「みんな、すまんな。」

咲夜は謝罪する。

女ナレ「続いて、ハヤテさんへの問題です。この漢字イラストは何を表しているのでしょうか？」

火火火

火火火

火火火

芯

溶芯溶

蠟蠟蠟

蠟蠟蠟

蠟蠟蠟

蠟蠟蠟

蠟蠟蠟

ハヤテは考える。

ハ「ろうそく。」

ピンポン

女ナレ「正解です。答えはろうそくでした。」

ナ「いいぞ、ハヤテ。」

女ナレ「ハヤテさんとナギさんの命の棒、残り158cmです。」

ここまで2問正解、脱出まであと7問。

果たして脱出できるか・・・。

棒の間 その2（前書き）

ここからは作者オリジナルクイズです。

棒の間 その2

棒の間に挑戦中の木乃香・刹那・ハヤテ・ナギ・ヒナギク・咲夜。
現在、2問正解して残りあと7問で脱出という状況である。（パスは残り1回。）

果たしてこのペースで脱出できるか・・・。

女ナレ「続いてはあいいうえおを暗号で表現した『あいいうえお暗号クイズ』です。刹那さんへの問題です。この暗号は何と読むのでしょうか？」

かきEくけこ
らりEるれろ

刹「E?」

首をかしげる刹那。考えるがひらめかない。

ヒント・Eはどこになる？

刹「『き』と『く』、『り』と『る』の間にあるんですよね?」

しかし、刹那はまだわからない。

木「せっちゃん、早くせんと棒が縮んでいくわ!」

刹那が考えている間、棒は縮んでいく。

刹「すいません・・・、パス!」

パスをした。

刹「どういう意味なんですか？これって……。」

女ナレ「ただいまの問題の正解は、『く』と『る』の前にEがあるので、車海老でした。」

咲「これはすぐにはわからへんわ。」

女ナレ「刹那さんがパスを使いましたので、パスはもう使えません。」

ナ「もうこれでパスはできないぞ！」

刹「皆さん、すいません……。」

謝罪する刹那。

木「いいわ、気にせんでええ。」

刹那を慰める木乃香。

咲（こっちは気にするっちゅうねん！）

女ナレ「刹那さんと木乃香さんの命の棒、残り108cmです。」

管理人「ここでパスを使い切ってしまった！ここからは正解できないければ奈落の底へ落ちるのみ！」

女ナレ「続いて、ヒナギクさんへの問題です。この暗号は何と読むのでしょうか？」

ヒ「私の番ね……。」

下を見ようとせずに問題を見ようとするヒナギク。

手手

手ペ↑

手手→

ばびぷ→ぼ

手手

ばびぶべ↓↓ぼ手

手手

注・手で握っていると思ってください。

ヒ「えっと……、ペットボトル？」

ピンポーン

女ナレ「正解です。答えは、『ペ』と『ぼ』をとっているので、ペットボトルでした。」

ナ「ヒナギクは落ちるのが怖いから、より根性が出てるといつこのなのだ。」

ヒ「よ、余計なお世話よ……。」

女ナレ「咲夜さんとヒナギクさんの命の棒、残り101cmです。続いて、ナギさんへの問題です。この暗号は何と読むのでしょうか?」

いぎぐげこ

あがうえお

ナギ「なんだこれは?」

少し首をかしげるナギ。

ナギ「『が』と『い』がなんか怪しいな。」

ヒント・『が』と『い』が入れ替わっています。

ナ「えーつと、これは……。」

考えている間、棒は縮み続ける。

ナ「入れ替え、交換……、あっ外交官!」

ピンポーン

ハ「よかったですね、お嬢様。」

ハヤテは棒が止まって一安心している。

女ナレ「答えは『が』と『い』が交換しているので外交官でした。」

ナ「さすがにこれはヒヤツとしたな……。」

女ナレ「ハヤテさんとナギさんの命の棒、残り97cmです。」

ナ「ちよつと縮ませてしまったな……。」

ハ「大丈夫ですよ。まだこの長さなら……。」

女ナレ「続いては、抜けている3つの文字を入れて縦から読むとある言葉になる『3つの穴埋め言葉クイズ』です。木乃香さんへの問題です。3つの四角に文字を入れると何という言葉になるでしょう？」

□んま

か□し

う□ん

考える木乃香。

木「最初は『め』かなあ？3文字目は多分『ど』……。えーつと、あつわかったメイドや！」

ピンポーン

女ナレ「正解です。答えはメイドでした。」

めんま

かいし

うどん

女ナレ「木乃香さんと刹那さんの命の棒、残り69cmです。続いて咲夜さんへの問題です。3つの四角に文字を入れると何という言葉になるでしょう?」

□ んぶ

せん □

ぎ □ ん

考える咲夜。

咲「おしも?(ブーツ)そんなないわな。」

頭の中でいろいろ文字を入れようとする。

咲「あ、最初『こ』かもしれん。そなると2文字目はこしも、ここも・・・、ころも・・・、衣^{いぬせ}!」

ピンポーン

女ナレ「正解です。答えは、衣^{いぬせ}でした。」

こんぶ(昆布)

せんろ(線路)

ぎもん(疑問)

ヒ「これもう棒がかなり短くなってるわよ・・・!」

咲「確かにそうや・・・!」

もうすぐヒナギクと咲夜がくつつくところまで棒が滲自覚なっている。

女ナレ「咲夜さんとヒナギクさんの命の棒、残り59cmです。」

次はハヤテの番である。

次の問題は次回に続く・・・。

棒の間 その3

現在棒の間に挑戦中の木乃香・刹那・ハヤテ・ナギ・ヒナギク・咲夜。

現在6問正解し、クリアまであと3問となった。(パスは使い切る) 現在、「3つの穴埋め言葉クイズ」で次はハヤテの番だ。

女ナレ「ハヤテさんへの問題です。3つの四角に文字を入れると何という言葉になるでしょう?」

は□の

くさ□

□ーつ

懸命に考えるハヤテ。

ハ「あれはこれを入れてと・・・、もやし!」

ピンポン

ナ「いいぞハヤテ。」

女ナレ「正解です。答えはもやしでした。」

はもの

くさや

しーつ

女ナレ「ハヤテさんとナギさんの命の棒、残り70cmです。」

サポートルーム

明日菜「これ全員脱出ありえるんじゃない!？」

夕映「ありえそうですね。」

西沢「ハヤテくん、落ちないでほしいなあ。」

管理人「脱出まであと3問!しかもまだ1人も奈落の底へ落下せず!
!このまま全員脱出となるか!？」

女ナレ「続いては3つの漢字にある部首をつけると別の漢字になる
『部首入れ漢字クイズ』です。刹那さんへの問題です。この3つの
漢字には何の部首がつくのでしょうか?」

化 次 加

刹「え!？」

問題のない様に驚く刹那。

わからない顔をする。

そして棒が50cmを切り、DANGERと表示される。

木「せつちゃん、早く！」

しかし刹那はまだわからない。そこで刹那が考えついたのは！？

刹「お嬢様、まかせました！」

と、刹那は自ら落ちた。身代わり作戦だ。

木「え、せつちゃん！？」

木乃香は飛び降りた刹那に驚くばかり。

管理人「刹那、ここは棒を縮みを無駄にしないために、木乃香に全てをまかして身代わり作戦！果たして木乃香は答えられるか！？」

女ナレ「木乃香さんに解答権が移りました。」

木「え、これなんや？ウチもわからへん！」

そしてヒントが映し出される。

化 次 加

□ □ □

木「下の部分？」

そして棒は25cmをきった。

ヒ「ほら、あれよ！」

ヒナギクはエールを送るが木乃香はまだわからない。

必死でトイレのすっぽんにしがみつく。

木「く、口！（ブーツ）皿！（ブーツ）」

そして棒はなくなっていき……。

木「あ、もうダメやわ……。」

木乃香は落ちてしまった。

咲「落っこちてもうた……。」

サポートルーム

明日菜「あーっ！木乃香と刹那さんが……。」

夕映「全員脱出となりませんでしたね……。」

女ナレ「刹那さんと木乃香さん、脱出失敗です。ちなみにただいまの問題の正解は、貝でした。」

貨資賀

管理人「刹那、木乃香にまかせて自ら落ちるも、木乃香は答えられずに後についていくように落下！2人共、脱出しっぱい。」

ヒ「慎重に答えないと・・・。」

女ナレ「ヒナギクさんへの問題です。この3つの漢字には何の部首がつくのでしょうか？」

方 完 皆

ヒ「こざとへん！」

ピンポーン

速攻で答えた。

女ナレ「正解です。答えはこざとへんでした。」

防 院 階

咲「これはすごいわな・・・。」

咲夜は歡心する。

女ナレ「咲夜さんとヒナギクさんの命の棒、残り49cmです。」

ナ「そんなに落ちたくないから、早く答えられたことだな？」

ヒ「うるさいわね・・・、次あなたでしょう？あと1問だから正解して早く私を楽しにして・・・。」

ヒナギクは短くなった棒と高さで放心状態である。

女ナレ「ナギさんへの問題です。この3つの漢字には何の部首がつくのでしょうか？」

欠 司 官

ナギは考える。

ハ「慎重に考えてくださいね・・・。」

ナ「うるさい、静かにするんだ・・・。」

その間も棒は縮み、ついに50cmを切って、DANGERと表示される。

ヒントが表示される。

□欠 □司 □官

ナ「あ・・・。」

何か思いついたようだ。

ハ「早くしてください・・・。」

棒は縮んでいって、ハヤテは危険な状況である。

25cmを切った所で・・・、

ナ「食べる!」

ピンポン

正解した。が・・・、

ハ「わーっ!」

ナギが正解した瞬間、ハヤテは落ちてしまった。

ナ「あれ、ハヤテ・・・?」

ナギも落ちていったハヤテを見て、何が起こったかわからない状況である。

サポートルーム

明日菜「あつ、ハヤテ落ちたの・・・?」

西沢「そうみたいだね。」

管理人「正解です。答えは、食でした。」

飲 飼 館

女ナレ「ハヤテさん、脱出失敗です。」

管理人「綾崎ハヤテ、ナギが正解した瞬間に落ちるというなんとも不幸な結末！脱出しっぱーい。」

そして・・・、

女ナレ「ステージクリアです。」

脱出成功

ヒ「これで終わり・・・？」

咲「ああ、クリアしたで。」

ヒナギクは一安心したようだ。

サポートルームも拍手する。

そして床が元に戻る。

ナギ「ハヤテには申し訳なかったが、とりあえず脱出だ。」

そして脱出口が開き、3人は外へ出る。

管理人「棒の間、脱出成功者は3名！よって3人分の賞金を獲得！」

6人はサポートルームに戻る。

夕映「よくがんばりましたね。」

木乃香「ウチらは脱出できなかったけど、3人がウチらの分まで脱出してくれたんや。みんなのおかげや。」

明日菜「でもハヤテの方、災難だったんじゃない？ナギちゃんが正解した直後に落ちるって……。」

ハヤテ「自分もこれにはびっくりしました。まさか正解した直後に落ちるとは……。」

ナギ「すまなかったなハヤテ、落下させて。あと1秒早く答えていれば……。」

ナギはハヤテに謝罪。これにはナギも少し後悔していたようだ。

次は天井の間。

天井の間 その1

6thステージは天井の間。

挑戦するのは神楽坂明日菜・綾崎ハヤテ・三千院ナギ。

室内には脱出へのカギとなる様々なアイテムがある。

この部屋で3人は壁につながれた鎖で動きを制限される。
そして脱出口がロックされる。

ガチャン

果たして3人は脱出できるか!?

女ナレ「目隠しを外してください。」

3人は目隠しを外す。

明日菜「何この部屋？」

ハヤテ「お嬢様、いましたか。」

ナギ「ああ、これは天井が降りてくる部屋なのだ。それから自分の足を見る。」

他の2人は足かせをみて、

明日菜「ちょっと！何これ!？」

ハヤテ「足に何かついてますよこれ!」

女性ナレーションが流れる。

女ナレ「この部屋から脱出するためには、室内に隠された様々な謎を解き明かし、3つのボックスを順番に開けなければなりません。」

目の前には鍵がかかった3つのボックスがある。

女ナレ「尚、仲間から30秒間だけヒントをもらえる、命のテレフオンを1度だけ使うことができます。」

ナギ「あれだ。」

ナギの目の前には電話がある。

女ナレ「それでは脱出を開始してください。」

ウーンウーンウーンウーン

脱出開始

明日菜「ちょっと、これから何が始まるの!？」

明日菜がそう言つと、何やら音が・・・。

ハヤテ「天井が下がってきてますよ!」

ハヤテの言つとおり天井が下がってきている。

明日菜「あ、ホントに下がってきてるわ!」

明日葉は下がってくる天井に声を上げる。

管理人「そう！この部屋では下がってくる天井に押しつぶされる前に、脱出しなければならぬ！足元のプレゼント袋から全てが始まる！」

天井から限界点まで300cmある。天井が限界点までいってしまふと脱出失敗となる。

ナギ「とにかく早くプレゼント袋を開けるのだ！」

ハヤテ「わ、わかりました！」

ハヤテは足元のプレゼント袋を開ける。

すると何やら紙と本が出てきた。

果たしてどんな謎なのか・・・。

続く

天井の間 その2

天井の間に挑戦する神楽坂明日菜・綾崎ハヤテ・三千院ナギ。
今、天井降下が始まった。

そして3人はプレゼント袋を開ける。そして紙と本らしきものが出てくる。

尚、ここからは明日菜↓明、ハヤテ↓ハ。ナギ↓ナと省略します。

明「紙に何か書いてあるわよ。」

ハヤテはそれを読む。

ハ「えーっと・・・、『謎を解くにはこの漫画を読み。』」

ナ「この漫画が謎を解くヒントらしいな。」

管理人「指令書には漫画を読むという文章が。同じく袋に入っていた漫画を読むということである。果たしてこの漫画にはどんな謎が書いてあるのか。」

ナ「漫画名が『DERO小学校のヒサシちゃんとミサキちゃん』。作者名『パル』・・・?」

明「パルって、ハルナの事?まさかこの謎のためにこの漫画描いてくれるなんてね。」

サポートルーム

夕映「そういえば、この前なんか漫画描いてるから忙しいというハルナの声があったですけど、まさかDERO用の問題ですとはね。」
のどか「この漫画は極秘だから誰にも知らせないようにハルナが言っていました。」

――――

ナ「とにかく漫画を読むぞ。」

3人は漫画のページを開く。

DERO小学校のヒサシちゃんとミサキちゃん。

ヒサシちゃんとミサキちゃんがかなりの幼馴染。

さらに2人がお弁当の日になると中身がかぶるといっほどのものでした。

遠足の日も同じ、運動会の日も同じ、社会科見学の日も同じ。

さすがにこんなに弁当の中身がかぶると自分達2人は本当に以心伝心しあってるんじゃないかと思いました。

終わり

明「これだけ？」

ハ「そうみたいですネ。」

ナ「どこに謎が書いてあるのだ？」

ナギがそう言うとハヤテは、

ハ「でもこの漫画、弁当の中身が全く見えてませんね。この弁当の中身を当てるというんじゃないんですか？」

明「そうじゃない？」

ナ「でもどこに謎を解くヒントがあるのだ？」

ハ「2人の弁当の中身がかぶるという所がポイントじゃないんですか？」

ナ「あ、そういうことか。」

3人は色々を考える。

ハ「遠足、運動会、社会科見学……。」

ナ「以心伝心に2人は幼馴染……。」

明「あー、もう何がなんだかわからないわ。」

ハヤテとナギが考える中、明日菜は早くもあきらめ状態。

とその時、ハヤテがあることに気がつく。

ハ「弁当が同じという場面は3回ありますよね？3回とも2人の弁当が同じだったということになるんじゃないんでしょうか？」

これを聞いてナギが、

ナ「2人が同じだったということは一致したとも言っ……ん？一致？わかった！3度も一致したんだからサンドイッチだ！」

2人はこれを聞いて、

ハ「あつ、そう言われてみれば……！」

明「確かにサンドイッチになるわね！」

管理人「そう！ヒサシちゃんとミサキちゃんの弁当は3回とも同じだった、つまり3度も一致したからサンドイッチとなるのだ！」

ナ「ハヤテ！サンドイッチを探せ！」

ハ「は、はい！」

ハヤテはナギに言われるがまま、棚からサンドイッチを探す。

ハ「あつありました！」

ハヤテはサンドイッチを見つける。

明「そのサンドイッチの中に鍵が入ってるってこと？」

ナ「じゃあハヤテ、それ食べる！」

ナギがそう言うとハヤテはサンドイッチを食べ始める。

すると。

ガキッ！

ハ「あれっ何か変なものが・・・？」

ハヤテを見るとサンドイッチの中から鍵が出てきた。

ハ「こ、これを開けるといふ事ですね！」

ハヤテは食べかけのサンドイッチを置いて、第1の鍵を開けに行く。

明「開いた？」

ハ「開きました！」

ハヤテは第1の鍵を開け、ボックスを開ける。

ナ「これもつたないから私食べるぞ。」

ナギはハヤテが食べかけたサンドイッチを食べる。

そしてボックスを開けた時、紙が出てきた。

果たして第2の謎はどんなものか・・・。

天井限界点まで残り181cm。

天井の間 その3

第2の謎を解く3人。

ハヤテは第1の箱から、紙を取り出す。

明「何が書いてあるの？」

ハ「えーっと、『指令書 習字道具を見て、鍵のありかを探せ!』です。」

明「習字道具って、あったっけ？」

ナ「あ、あそこの棚にある。」

ナギが棚にある習字道具を見つける。

3人は見に行く。

左から順に、墨・半紙・文鎮・筆・すずりがある。

ハ「あれ、何か下に値札がありますよ。」

ハヤテが見ると、確かに習字道具の下に値札がある。

墨 500円

半紙 200円↓100円

文鎮 2000円

筆 1500円

すずり 2000円

明「この紙だけ、安くなってない？」

確かに半紙だけ安くなっている。

管理人「続いての謎は、習字道具にある。そしてその習字道具の値段。しかし半紙だけ安くなっている。これは何を意味するのか？」

ハ「この紙が重要な力ギを握るんじゃないんでしょうか？」

ナ「ハヤテの言うとおりだな。2000円から1000円になった紙のポイントだな。」

3人は半紙を紙と言っているが、これは半紙と呼ばないと謎にたどりつけない。3人はこれを半紙と気づけるか。

ナ「2000円から1000円・・・、1000円安くなったことだが、何だこれは・・・。」

明「私も全然わからない・・・。」

ハ「この紙と値札が意味するはずらしいですけどね・・・。」

と、ここでナギが、

ナ「これ、半紙と言うのではないか？」

ナギがやつと紙を半紙と気づいた。

ハ「あ、確かにこれは半紙と言いますね。」

明「でもこれで謎が解けたわけじゃないんでしょう？」

完全に行き詰った3人。天井もどんどん下がってくる……。

――――

その頃サポートルームのヒナギクが何かに気づく。

ヒナギク「これ、200円から100円になったってことは、値段が半分になっているということじゃないかしら？ということとはこれ半額ってことじゃないの？」

木乃香はそれを聞き、

木乃香「あつ、そう言われればそうや！」

夕映「でもその後どうするんですか。」

ヒナギクは半額と半紙を見て考えた。

ヒナギク「半額、はながく……あつ、わかった！『はん』が『く』になるのよ！」

回りもそれに気づいて、

木乃香「あっ、確かにそうや！半紙の『はん』を『く』にすると、『くし』になるで！」

管理人「サポートルームお見事！半紙の値段が2000円から1000円、つまり値段が半額になっていることなのだ！そして半紙の『はん』を『く』にすると・・・、そう、『くし』となる！」

木乃香「明日菜たち、こっちに電話してくれ！」

木乃香は3人が電話することを願う。

124

3人は第2の謎にいまだに苦戦している。

天井も下がってきたので3人は完全に座りこんでいる。

明「2000円から1000円に安くなるってどういうことなの！？1000円安くなるってわかってもどう解けばわからないんじゃない。」

明日菜はあーだこーだと嘆いている。

ハ「これ電話使いませんか？」

ナ「そうしよう。」

明「もうみんなに助けを求めるしかないわね。」

ナギも明日菜も電話することに賛成する。

ハヤテは電話を取る。

ピロロロロ・・・

サポートルームから電話がかかる。

ヒナギク「あつ、ハヤテ君たちからだわ。」

ヒナギクは電話を取る。

命のテレフォンの制限時間は30秒。尚、直接答えを教えることはできない。

ヒナギク「もしもし。」

ハ「あ、ヒナギクさん。」

ヒナギク「これはね、200円が1000円になるということをどう言い換えるかを考えて。」

ハ「言い換える?」

ヒナギク「これはね、300円から150円、1000円から500円になることも同じことなの。」

ハ「300円から150円、1000円から500円・・・。」

と、ハヤテがピンと来る！

ハ「あつ、わかりました！ヒナギクさん、いいヒントありがとうございます！」

ハヤテは電話を切る。

夕映「ちゃんとわかったんでしょか？」

ヒナギク「大丈夫。ハヤテくんは私の教えたヒントで完全にわかったという感じだったわ。」

ヒナギクはハヤテのひらめきを確信していたようだ。

ナ「どうだ？」

ハ「わかりましたよ！これは200円から100円になったってことは半額になったってことですよ！」

明・ナ「あつ！」

2人は気づいたようだ。

ハ「半紙と半額、ということは、『はん』が『く』・・・、はんしの『はん』を『く』にすると・・・。」

ナ「くしだ！」

明「くしを探せばいいのね！」

明日菜は棚からくしを探す。

明「あつたわ！」

明日菜は髪を留めるくしを見つけ、その裏に鍵を見つける。

明「早く開けないと時間ないわよ！」

明日菜はハヤテに鍵を渡し、ハヤテは第2の箱の鍵を開ける。

箱の蓋を開けたら、紙が出てきた。

果たして第3の謎はどんなものか・・・。

天井限界点まで残り91cm。

天井の間 その4

第3の暗号を解く3人。

ハヤテは指令書を読む。

ハ「『?』の表す所を数字を入れて鍵のありかを示せ。尚、それは地デジカが持っている。』」

ナ「地デジカって、どこにあるんだ。」

明「あれじゃない?」

明日菜は棚から地デジカの人形を見つける。そしてそれを明日菜が取る。

明「あれ、服に何か入っているわよ?」

明日菜は地デジカの服の中から、何かを取り出す。紙が入っていた。

その中身は、

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

← ← ← ← ← ← ← ←

6 ? 5 ? 4 5 6 ? 7 6

ヒント 2011年7月24日 (尚、このヒントの数字はデジタル式になっている。)

ハ「これがヒントみたいですな。」

管理人「地デジカの持っていたヒントには、数字が矢印の方向へ違う数字に変換されているものと、？で答えが隠されている数字。そしてヒントには、2011年7月24日と書かれている。これは何を意味するのか？」

この謎から最後のボックスの鍵を開ける3ケタの数字を導き出せ！」

明「これどうということなの？」

ハ「何でしょうね・・・、それから2011年7月24日というのは・・・。」

ナ「変換されているのは、4・5・6・7ばかりだな。」

ハ「でも？に入る数字が4・5・6・7とは限りませんよ。」

3人はまだひらめかない。

天井はかなり下がっており、3人は今にも仰向けになりそうな状態だ。

とここでハヤテが、

ハ「あつ、2011年7月24日って地上デジタル放送に完全以降した日ですね？一部を除いて。」

ナ「あつ、そうだな。」

明「じゃあだからヒントを地デジカが持っていたのね。」

ハ「だから2011年7月24日の部分がデジタル数字になっているんですよ。」

管理人「そう！2011年7月24日は日本のテレビがアナログ放送から地上デジタル放送に完全以降した日である！これに関連して2011年7月24日の部分が普通の数字ではなくデジタル数字となっているのだ！あとはこれらのヒントをまとめて、？の部分を導き出せばいいが・・・。」

ハ「このヒントの数字をデジタル数字にしてみたらいいんじゃないんですか？」

ナ「それやってみるか！」

明「これで何かわかるかも・・・。」

ナギと明日菜はこれに賛同する。

ハヤテは紙にヒントの数字をデジタル数字にして書く。

それを書いて、色々な視点で見てみたが・・・、

ナ「これで何がわかるというんだ！」

明「何なのよデジタルにしても何もわからないじゃない！」

女の子2人はデジタルにしても何のことかわからない状態だ。

ハ「まあまあ、2人とも落ち着いてください。」

明「天井がどんどん下がってるのに落ち着いてられないわよ!」

デジタル数字にしてみたが何のことかわからないみたいだ。

時間とともに迫り来る天井・・・。

その頃サポートルームでヒナギクがあることに気がつく!

ヒナギク「この数字もしかして、このデジタル数字の棒の部分の数を表しているんじゃないの? 0は棒6本、2は棒2本・・・。」

咲夜「あつ、ホンマや!」

木乃香「確かにそうや!」

管理人「ヒナギク大正解! この変換された数字はデジタル数字の棒の数を表している。0は棒6本だから6、2は棒5本だから5となる! ということは3ケタの数字は・・・?」

ヒ「1は2、3は5、7は3、253よ!」

木「明日菜たち早くこれに気がついてくれんか!？」

木乃香は部屋にいる3人に願う。

――
3人はいまだに第3の謎に苦戦していた。

限界点まで残り40cmとなった。

もう3人は仰向けになっている状態だ。

ナ「一体なんなのだ！　？の数字は！？」

明「知らないわよ！私だって！」

女の子2人はやけっぱちになっている。

それに対しハヤテは懸命に考えていた。

ハ「お嬢様を守るために脱出しないと・・・、デジタル数字をよく見ればどこかにヒントがあるはず・・・。」

ハヤテはデジタル数字を見続ける。

と、その時！

ハ「（あつ、こういうことですね！）わかりましたよ！お嬢様、明日菜さん！」

明「え？」

ナ「わかったか！？」

2人はハヤテを見る。

ハ「この変換された数字はデジタル数字の棒の数を表しているんですよ！0が6本、2が5本、4が4本……。」

ナ「あつ、そういうことなのか！」

明「そうだったの！？」

2人は

サポートルームも

木「わあー、ハヤテくんが気づいてくれたわー。」

西沢「やっぱりハヤテくんすごい……！」

大歓声だった。

ハ「だから？に入る暗号は……。」

ナ「1は2本だから2……、3は5本だから5、7は3本だから……、253か！」

明「私が行くわ！」

明日葉は3つ目のボックスの箱の所に行く。

そして253とダイヤルに番号を入れる。

そしてカギが開く。

明「あ、開いたわ!」

箱を開けたらドライバーが出てきた。

この時点で限界点まで25cmとなった。

明「これどうするの!？」

ナ「あれだ!あれを開けるのだ!」

ナギはネジの穴のある所を見つける。

3人はそこに行く。ハヤテはドライバーでネジを開ける。

明「早くして!天井が降りてくるわよ!」

ハ「わかってます!」

ハヤテは1本目のネジを開けて、2本目のネジも急いで回す。

そして2本目のネジも開けて、蓋が開く。

ハ「開きました!」

ナ「どこかにリモコンがあるはず・・・、あつこれだ。」

ナギはリモコンを見つけ、モニターに向かってスイッチを入れる。

天井降下システム

一時停止

女ナレ「天井降下システム、一時停止します。」

明「はあ止まったわ・・・。」

そして天井降下が止まる。残り17cm。

サポートルーム

木乃香「でもコレ微妙やわ。脱出できるんかなあー。」

ヒナギク「奇跡を信じるしかないわね。」

そしてモニターに管理人が現れる。

管理人「おーつかーれさーん！いやあハヤテすごいねー。やっぱり

ナギ守るためなら気合入るみたいだね。」

ハ「まあ、お嬢様を守るのが執事の使命ですから。」

管理人「ナギのハヤテへのサポートさも素晴らしかったじゃない。」

ナ「ま、まあハヤテがいないと私は寂しいようなものだからな。」

管理人「それに対してそっちのおバカさん（明日菜）はただ2人の言うように動いていただけ。」

明「わ、悪かったわね！」

明日菜は真っ赤になる。

次はダクトチャレンジ。

果たして3人は脱出できるか・・・。

続く

天井の間 その5

見事天井の間で第3の謎を解き、天井降下を止めた3人。
さあ3人は脱出するために最後の難関に挑む。

管理人「ここからは最後の難関、ダクトチャレンジ！

これから足の力ギを1人分差し上げます。自由になった人がダクトの奥にある天井降下の解除ボタンを押せば、脱出成功となり、3人の賞金を獲得できます。但し、仲間が天井に潰されてしまったら脱出失敗となります。そしてダクトの途中にあるヌルヌルのガラスをいかに要領よく開けられるかが力ギとなります。ではダクト進入
□オープン！」

そして隣にあるダクト進入口が開かれる。

管理人「それではどれか好きなボタンを押してください。1人分の力ギが出てきますが、その瞬間に天井降下も再開しますので気をつけてください。それでは幸運を祈ります！バイバーイ。」

モニターから管理人が消える。

明「どれにする？」

ボタンはA・B・Cの3つがある。

ハ「お嬢様はどれがいいと思いますか？」

ナ「私はBあたりがいいと思うな。」

サポートルーム

夕映「この天井の低さで大丈夫なのでしょう？」

咲夜「ナギは運動神経悪いからなー。ナギになったらマズイわなー。」

――

明日「じゃあB押すわよ。」

明日菜はBボタンを押す。

ピーー

そしてカギが出てくる。そして天井降下が再開する。

限界点まで残り17cmなのでそれまでにボタンを押さなければ脱出失敗となる。

明「まずは私から・・・。」

明日菜は自分の足枷を鍵を開けようとするがカギが合わず、開かない。

明「違うみたい。じゃあ次はハヤテ。」

明日菜はハヤテの足枷のカギを開けようとする。

カチャン

開いた。

ハ「あ、僕です！」

ここで限界点が15cmを切った。

ナ「ハヤテ、早く行って止める！」

ハ「わかりました！」

ハヤテは急いでダウト進入口に入る。

ハ「お嬢様のために僕がやらないと！」

ハヤテは異様な速さで進む。

サポートルーム

木乃香「ハヤテ君早いわあ！」

西沢「ハヤテ君がんばって！」

明「ハヤテ、お願い！」

ナ「絶対に止めるのだハヤテ！」

2人は叫ぶ。

ハヤテはクモの巣トラップや15度の斜面を問題なく進んでいく。

そして残り5cmになった時点でハヤテはガラスの所へ行く。

ハ「わあ、これ本当に滑りますね！」

滑るガラスを開けようとするハヤテ。

ナ「もうすぐ天井が迫るぞ！ハヤテ早くしろ！」

ハ「お嬢様を脱出させるために！お嬢様を脱出させるために！」

そしてハヤテはガラスを開け、ボタンの所に向かう。

ハ「うわああーーーーー！」

ドン！

力強くボタンを押した。

明かりが消える。

明「どうなったの・・・？」

ナ「助かったのか・・・？」

サポートルームも沈黙する。

ハ「・・・・・・・・。」

女ナレ「ステージクリアです。」

脱出成功

ハ「ということはお嬢様も助かったてことですよね・・・？」

ナ「ハヤテ、よくやった！」

明「ありがとうハヤテ！」

なんと限界点まで残り1cmという状況での脱出成功だった。

サポートルームも大歓声が舞う。

木乃香「うわあ、奇跡の脱出だわ！」

夕映「本当にやりましたね。」

咲夜「本当にスゴいわな。」

ヒナギク「私は信じていたわ、ハヤテ君を。」

西沢「やっぱりハヤテ君すごいなー。」

――――

ハ「お嬢様、やりましたよ……。」

女ナレ「脱出成功、おめでとうございます。」

ハヤテは部屋に戻る。

天井が元に戻る。

ナ「よくやったな、ハヤテ！」

明「あんたさすがよ！」

ハ「ありがとうございます。」

他の2人の足かせのカギも開け、3人は部屋から外に出る。

管理人「脱出が危ぶまれていた中、ハヤテの根性のおかげで見事脱出成功となった3人。よってこのステージ、3人分の賞金を獲得！」

3人はサポートルームに戻る。

木乃香「いやあハヤテ君最後スゴかったわあ。」

夕映「あのスピードは本当に脅威でしたね。」

ハヤテ「いやあそれほどでも・・・。」

照れるハヤテ

ナギ「ま、さすが私の選んだ執事だな。」

管理人が現れる。

管理人「いやあハヤテ、ホントにあなたはスゴかったよ！やっぱりこれはナギを助けるための執念ってだよね？」

再び照れるハヤテ。

管理人「明日菜はあまり活躍できなかったね。さすがバカレンジャ
ーといっていいかな。」

明日菜「それを言わないでよ！」

プイとする明日菜。

次は水の間。

水の間 その1（前書き）

昨日、ネギまとハヤテの映画見てきましたが、おもしろかったです。
最後見所でした。

水の間 その1

7thステージは水の間。

挑戦するのは、近衛木乃香・宮崎のどか・桂ヒナギクの3人。

3人はスクール水着に着替えて、地下の部屋に入れられる。

部屋の中には脱出への力ギとなる様々なアイテムがある。

そして脱出口がロックされる。

ガチャン

性格が全く違う3人は果たして力をあわせて脱出できるか。

女ナレ「目隠しを外してください。」

3人は目隠しを外す。

木乃香「何やココ？」

のどか「なんだか狭い部屋ですね・・・。」

ヒナギク「これ水の間じゃない？」

木乃香「じゃあ水が出てくるっていうことか？あ、だからスク水着
ろって言われたんや。」

そしてナレーションのからアナウンスが入る。

女ナレ「この部屋から脱出するためには、室内に隠された謎を解き

明かし、3つのボックスを順番に開けなければなりません。」

ヒナギク「さっきの天井の間と同じ条件ってことね。」

女ナレ「尚、仲間から3秒間だけヒントをもらえる『命のテレフォ
ン』を1度だけ使うことができます。」

ヒナギク「あれじゃない?」

ヒナギクはビニールでかぶせてある携帯電話を見つける。

木乃香「あれで明日菜たちに電話できるってことやな。」

女ナレ「それでは、脱出を開始してください。」

ウーンウーンウーンウーン

脱出開始

木乃香「始まったわ。」

そしてなにやら音が……。

のどか「何か音がしますよ……。」

ザザザザ……

水が出てくる。

木乃香「わあ水が出てきたわ!」

管理人「このステージでは、部屋が水でいっぱいになる前に脱出しなくてはならない！限界水位を超えると脱出失敗となる！」

限界數位まで200cmある。

尚、ここからは木乃香↓木、のどか↓の、ヒナギク↓ヒを省略します。

ヒ「まずこれを開けるんじゃない？」

ヒナギクはプレゼントボックスを見つける。すべてはここから始まる。

そしてヒナギクはプレゼントボックスを開ける。

中から出てきたのは人数分のゴーグルと指令書。

木「これがあれば水の中に潜れることやな。」

3人はゴーグルをつける。ヒナギクは指令書を読む。

ヒ「『机にある箱を開ける。』」

木「箱ってどこや？」

の「あれじゃないんですか？」

のどかは、机の上にある箱を見つける。

そしてのどかはそれを取る。

の「開けますよ。」

のどかは箱の開ける。

すると中に入っていたのは黄色い『み』が。

木「『み』？」

管理人「最初の謎は箱を開けるという指令。そして箱の中から黄色い『み』が。これは何を表すのか？」

ヒ「あれ、この『み』の文字の下に何か書いてあるわ。」

ヒナギクは『み』の文字を取り、ヒントを見る。

ヒ「ヒント・『箱』の中に黄色い『み』。そんなのわかってるわよ！」

木「でもこの『み』が黄色いのはかなり重要なことのアズやハナ。」

3人は考える。

の「『み』が黄色い・・・、みがき・・・。」

これを効いて木乃香が、

木「みがき？何か磨くものちゃうか？」

木乃香は何か磨くものを探す。

木「棚に歯ブラシがあるで。これちゃうか？」

木乃香は棚にある歯ブラシ入れから歯ブラシを取る。

取ってみると何か紙がついていた。

『惜しいけどそれではない。』

と書かれていた。

木「あ、違うわあ。他に考えることがあるということなんか？」

の「でも『み』が黄色いのは大事なんですけどねえ……。」

木乃香とのどかは戸惑う中、ヒナギクは謎を考えていた。

ヒ「『み』が黄色、それが箱の中に入っていた……。。」

とヒナギクが何やらピンときた！

ヒ「わかったわ！箱の中の『み』が黄よ。」

木「それどういう意味や？」

ヒ「文字で考えればいいのよ！『み』が黄色なのは合ってるのよ。」

ただどねこれ、箱の中に入っていたのも重要な点なのよ。『はこ』の中に『みがき』を入れれば……。」

ヒナギクはかけてあるボードに文字を書く。

はみがきこ

木「あ、歯磨き粉や！」

ヒ「そういうこと！」

管理人「そう！これは『箱』の中の『み』が黄色。つまり『はこ』の中に『みがき』、『はこ』の文字に『みがき』を入れれば歯磨き粉となるのだ！」

ヒ「歯磨き粉探して！」

木「確か歯ブラシの近くになんかあったような気がするわ。」

木乃香は歯ブラシのある棚を見る。そして歯磨き粉を見つける。

歯磨き粉の裏を見ると……。

木「鍵があったわあ！」

第1のボックスの鍵を見つける。

ヒ「早く開けないと。」

ヒナギクは1つ目のボックスの鍵を開ける。

そして紙が出てきた。

果たして次の謎はどんなものか・・・。

限界水位まで残り155cm。

水の間 その2

第1の謎を解き、第2の謎を解く木乃香・のどか・ヒナギク。

1つ目のボックスからなにやら鍵と指令書が入っていた。

ヒ「『ポストの中を見る!』」

管理人「指令書には『ポストの中を見る。』という文が、そしてこの鍵は・・・?」

木「ここにポストがあるで。これポストの鍵なのちゃうかいな?」

ヒ「そうじゃないの?」

ヒナギクはポストの所へ行き、ポストの鍵を開け、取り口を開ける。すると手紙が入っていた。

ヒ「中見るわよ。『郵便 あせるな かんがえればわかる ミスタ
ーより 所沢市在住』。ヒントはトイレの中にある!』」

木「どういうことや?」

管理人「続いての謎は、手紙になにやらメッセージが書かれている。

」

郵便

あせるな

かんがえればわかる

ミスターより

所沢市在住

ヒント・トイレの

間にある！

管理人「そしてヒントには、『トイレの間にある！』と書かれている。果たしてこれはどういうことなのか？」

ヒ「トイレの間がヒントって？」

木「どこかトイレ探したらあるんじゃないか？」

の「でもここにトイレありませんよ。」

とその時、木乃香が棚にあるものを見つける。

木「あ、何か小さいトイレがあるな。」

木乃香が見つけたのは、小さなおもちゃでできたトイレ。

ヒ「開けてみて。」

木「わかつとるわ。」

ヒナギクの言うように木乃香はトイレのフタを開ける。

木「何か紙が入つとるで。」

木乃香は紙を取り出し読む。

木「『ヒント・トイレを別の言い方にしろ。』やて。」

と、書かれていた。

ヒ「別の言い方にする?。」

の「別の言い方といえば、便所や便器がありますよ。」

のどかが言う。

そしてヒナギクが手紙をじっと見ていると何やら気づく!

ヒ「あれ、これ『便』と『所』があるじゃない?。」

木「あ、ホントやわ。」

ヒ「トイレを別の言い方にするってことだから、便所の間にあるって言うことじゃない?そしてその間には……。」

木「せ・ん・ス……、せんすやわ!。」

サポートルームも

明日菜「これわかるの早いんじゃない!？」

ハヤテ「明日菜さんの言うとおり、ヒナギクさんたちわかるの早い
ですね!」

管理人「そう!トイレを別の言い方にしたら便所。
そして手紙の内容を見てみると、

郵便

あせるな

かんがえればわかる

ミスターより

所沢市在住

そう、『便』と『所』が書いてある。ヒントを通り、便所の間を
読んでみると・・・、そう『センス』、扇子が隠されている!」

木「扇子扇子・・・、あつあつたわ!」

木乃香は、柵から扇子を見つける。

木乃香が扇子を取ると、後ろに鍵があった。

木「次ウチが開けてくるわ!」

ヒ「わかったわ!」

木乃香はゴーグルをつけ、水の中に潜る。

木乃香は2つ目のボックスの所に行き、鍵を開ける。

そしてボックスを開ける。

果たして3つ目の謎はどんなものか・・・。

限界水位まで残り127cm。

水の間 その3

2つ目のボックスを開け、第3の謎を解く3人。
ヒナギクは指令書を取り出す。

ヒ「『法則を解き、青い棚のアイテムから、4桁の数字を導け』」

これが法則だ。

ロック↓○ 演歌↓×

午後↓○ 午前↓×

資産↓○ 借金↓×

注・小さい順に並べよ。ただし、順番は番号順ではない。

木「青い棚ってどこにあんの？」

の「あれじゃないんですか？」

のどかは上を見る。

確かに青い棚があり、何かものが置かれている。

1・肉 3・小判 4・珊瑚 6・サザンオールスターズのCD
8・りんご 9・くし

管理人「青い棚の上には、番号が振られたのアイテム。指令書の法則を解けば、アイテムから4桁の番号が導きだされる。」

ヒ「ロックが。で演歌が×・・・？」

木「どういうことや？資産は。で借金は×って？」

悩む3人。

その頃、サポートルームでは・・・、

ハヤテ「これわかりました！」

ナギ「わかつただって？」

ハヤテ「これはですね、ろくくじゅうし・・・くじゅうじゅうし・・・しさんじゅうに・・・。」

西沢「あつ、それって・・・。」

ハヤテ「そう九九ですよ！」

管理人「そう！この指令書は九九を意味している！ロックは6×9
＝54、午後は5×5＝25、資産は4×3＝12となる！」

明日菜「え？え？」

明日菜はなんだか意味をわかっていないようだ。

ヒナギクの問いに2人は納得する。

チーン・・・

ハヤテ「・・・。」

ハヤテはしゃんぼりする。

ナギ「どうやらハヤテの出番はなさそうだな。」

刹那「でもかなりの余裕ですよ、水位が。」

明日菜「脱出できればいいんだからね！」

木「じゃあ九九になるものをさがせばいいわな。」

の「九九になるものは、肉と・・・、珊瑚と・・・、くし・・・、あれ1つ足りないですよ。」

ヒ「サザンも九九になるわ。」

の「あつ、そうですか。」

木「ということは、番号は1469やな！」

木乃香が鍵を開けようとして行こうとしたとき、

ヒ「ちょっと待って、木乃香ちゃん。」

ヒナギクが止めた。

木「なんや？急に止めて。」

ヒ「この指令書の注意事項に『順番は番号順ではない』と書かれているわ。」

の「じゃあということは・・・？」

ヒ「九九の答えの表せてことじゃない？」

木「あっそうかもしれへん！」

ヒナギクはボードの所に行く。

ヒ「肉は $2 \times 9 = 18$ ・・・、珊瑚は $3 \times 5 = 15$ ・・・、サザン
は $3 \times 3 = 9$ ・・・、くしは $9 \times 3 = 6$ ・・・。」

の「小さい順に並べたら6419・・・。」

木「6419や！」

ヒ「木乃香ちゃん、一緒に行く？」

木「ああ行くわ。のどかはそこで待ってな。」

の「は、はい！」

のどかがそう言い、2人はゴーグルをつけ、水の中に入る。

2人は3つ目のボックスの所に行き、ダイヤルに6419と入れる。

そしてボックスの鍵が開く。

2人は箱を開けるとリモコンが出てきた。

2人は水の中から出てくる。

木「このリモコンどうするんや!？」

ヒ「あのモニターに向かってつけるのよ!」

ヒナギクの言うように、木乃香はモニターに向けてリモコンのスイッチを入れる。

ピッ

放水

一時停止

女ナレ「放水を一時停止します。」

そして放水が止まる。残り77cm。

木「止まったわあ。」

の「よかったです。」

そしてモニターから管理人が現れる。

管理人「いやいやいや、3人ともテンポよかったよ。結構早い段階で放水止めたね。特にヒナギクは結構貢献していたね。」

ヒ「生徒会長の名にかけて、恥はさせないからね。」

管理人「木乃香ものどかも結構ヒナギクをサポートしていたよ。」

の「いや、それほどサポートしたわけでは・・・。」

木「まあええやんか、これはここにいる3人の協力で出来たことやしー。」

さあ次はラストアンサークイズ。

果たして3人は脱出できるか・・・。

水の間 その4 そして結果発表（前書き）

今回の第4回は終わりです。

水の間 その4 そして結果発表

管理人「ここからは最後の難関、ラストアンサークイズ！

問題に3問正解すれば、脱出成功となります。パスもしくは誤答の場合、次の問題が出されませんのでご注意ください！それでは3人とも幸運を祈ります、バイバーイ。」

モニターから管理人が消える。

女ナレ「放水を再開します。」

放水が再開する。

木「あ、また水が出てきたわあ。」

限界点77cmからスタート。限界水位に達する前に3問正解しないと脱出失敗となる。

女ナレ「ラストアンサークイズ、スタートです。

問題・歴代の内閣総理大臣で名字が漢字1字の総理大臣を4人答えなさい。」

ヒ「まずは、菅直人さん。」

ピンポン

木「あと誰がいたんやろ？」

ヒ「あっ思い出した森喜郎さん。」

ピンポン

その間も3人は考える。

木「原敬もいたんちゃう?」

ヒ「あつその人もそうよ。」

木「じゃあ原敬。」

ピンポン

の「あと1人誰がいたんでしょう・・・?」

ヒナギクは思い出そうとする。

ヒ「あつわかった。岸信介。」

ピンポンピンポン

女ナレ「正解です。1ポイント獲得です。」

その他答えに、桂太郎などがある。

木「まず1ポイントや。」

女ナレ「問題・人口の少ない都道府県ベスト5、4つ答えなさい。」

ヒ「これちょっと難しいわね・・・。」

の「鳥取と島根って少ないんじゃないんですか？」

ヒ「そうね、まずそこから鳥取県。」

ピンポーン

の「島根県。」

ピンポーン

木「どこが人口少ないんやろな・・・。」

3人は考える。

ヒ「なんか四国の人口って少ないって話聞いたことあるわ。」

木「じゃあ徳島は結構少ない気がするで？」

の「私も思います。」

ヒ「じゃあ徳島県。」

ピンポーン

ヒ「あと1つね。」

木「ウチ香川やと思うわあ。」

ヒ「じゃあ言ってみて。」

木「香川。」

ブーッ

木「あつ違ごうたわ！」

女ナレ「不正解だったため、30秒間問題が出されません。」

その他正解 高知県・福井県

木「ヒナギクちゃんごめんな……。」「

ヒ「大丈夫、まだ時間はあるから。」

の「でもその間に水がたまっていきますよ……。」「

そして25秒が経ち……。。

女ナレ「3、2、1、0。」

問題・AKB48で20歳未満のメンバー、4人答えなさい。(2011年9月25日現在)「

ヒ「そんなのわからないわよ!」

ヒナギクもさすがにこの問題はお手上げのようだ。

木「待って、ウチ知っているのがいるわ。渡辺麻友ちゃんは17くらいだったハズや。」

ヒ「じゃあ答えて！」

木「渡辺麻友。」

ピンポン

ヒ「あつ、私心あたりのあるメンバーが1人いる気がする……。峯岸みなみって、確か1992年生まれと聞いたことがあるわ。」

木「じゃあそれや！」

ヒ「峯岸みなみ。」

ピンポン

木「のどか、わからへんの。」

の「私そんなのわかりません……。！」

のどかは水の必死で浮かばうとする。

木「きたりえこと北原里英とさっしーこと指原莉乃、どっちが年下やったかなあ……。でもさっしーのヘタレキャラ見てみたらさっしーの方が年下の気がするわ。指原莉乃。」

ピンポン

木「きたりえって20歳未満じゃないちゃうのかいなあ……。でも柏木由紀も捨てがたいな。」

ヒ「私はわからないわよ。木乃香ちゃんが思ったことと言って!」

木「じゃあこれ行くわ。北原里英!」

ブーッ

木「あつ違うわあ。」

女ナレ「不正解だったため、30秒間問題が出されません。」

その他答え・高城亜樹・宮崎美穂・仲川遥香・河西智美・菊池あやか・多田愛佳・内田眞由美など。(2011年9月25日現在)
北原里英は6月に20歳を迎えた。

木「また30秒待つんかあ・・・。」

ハヤテ「惜しい所まで行くんですがねえ・・・。」

刹那「お嬢様・・・。」

刹那は木乃香に対してますます心配になる。

明日菜「大丈夫。あの3人なら・・・。」

明日菜は祈る。

――
限界水位まで40cmになろうとしている。

女ナレ「3、2、1、0。」

問題・新房昭之が監督を務めたアニメ、5つ答えなさい。」

木「これウチわかるかもしれん！」

木乃香は地震満々みたいだ。

木「ネギま！？」

ピンポーン

木「ぱにぽにだっしゅ！」

ピンポーン

木「さよなら絶望先生！」

ピンポーン

木「魔法少女まどか マギカ！」

ピンポーン

木「あと1つ何があったんやろ……。」

と、のどかが来る。

の「私わかります。化物語。」

ピンポンピンポン

女ナレ「正解です。2ポイント獲得です。」

木「のどかナイスやあ。」

その他正解 魔法少女リリカルなのは・まりあほりっく・荒川アンダーザブリッジ・ひだまりスケッチ・電波女と青春男など。

管理人「脱出まであと1問！限界水位までまだ30cm以上ある！果たして次で決められるか!？」

女ナレ「問題・嵐のシングル曲、5つ答えなさい。」

ヒ「え？」

問題を聞いた途端、一瞬止まるヒナギク。

木「これ正式名で答えないといけないんじゃないか!？」

ヒ「それはわかっているわよ。とにかくわかる方から・・・、『A・RA・SHI』。」

ピンポン

木「確か『Monster』あつたんちゃうか、確か怪物くんの。」

ヒ「それよ！答えて！」

木「『Monster』。」

ピンポン

木「あとは・・・。」

ヒ「ねえのどかちゃん、あなた何かわかる？」

ヒナギクは水に浮かぼつとするのどかに聞く。

の「わかりません。音楽あまり聴かないんで・・・。」

木「うちちょっと最近の思い出しそふなのがあるんやけど・・・、
『果てない何とか』という曲があつた気がするんや・・・。」

ヒ「その後を何か思い出せない？」

木「だから今、思い出そうとしてるんや・・・、道やったかな・・・？」

木乃香はその辺が思い出せないようだ。

木「これ行ってみるわ。『果てない道』。」

ブーッ

ヒ「違ったみたいね！」

木「ああ、ごめんなあ。」

女ナレ「不正解だったため、30秒間問題が出されません。」

その他答え W I S H、L o v e s o s w e e t、B e l i e
v e、B e a u t i f u l d a y s、マイガール、D e a r
n o w など

ちなみに正しくは「果てない空」

明日菜「ああ、木乃香おしい。」

夕映「のどか大丈夫なんでしょうか・・・。」

夕映はのどかを心配する。

管理人「余裕があつた限界水位もとうとう20cmを切る！果たして3人の運命は！？」

女ナレ「3、2、1、0。」

問題・村上春樹が発表した作品、4つ答えなさい。」

木「まず1Q84。」

ピンポン

ヒ「ノルウェイの森。」

ピンポン

木「あと何があるんや？」

と、ここでのどかが動く！

の「私わかります！答えます！」

木「あ、のどかならわかるかもしれへん！」

の「羊をめぐる冒険。」

ピンポン

の「海辺のカフカ。」

ピンポンピンポン

女ナレ「ステージクリアです。」

脱出成功

木「やった！脱出や！」

ヒ「これでOKよね！」

に「よかったです・・・。」

サポートルームも拍手が舞う。

ハヤテ「これはすごいですね！」

ナギ「でももう少し早く脱出できると思ったがな。」

明日菜「よかったわね！」

夕映「最後、のどかが役に立ってよかったです。」

刹那「とにかくお嬢様が助かって一安心です。」

女ナレ「脱出成功、おめでとうございます。」

そして脱出口が開き、3人は外に出る。

管理人「限界水位まで10cm以上残した状態で見事脱出に成功した3人！よってこのステージ、3人分の賞金を獲得！」

3人はサポートルームに戻る。

管理人「いやいやいや、本当に3人ともすごかったよ！自分の得意分野でうまく答えて脱出できていたし！」

木乃香「まあ他の方の助けもあったけどな。」

管理人「それから間違えても誰も攻めなかったこと！木乃香はよく間違えていたけど、ヒナギクはよく怒らなかったね！」

ヒナギク「このぐらいの間違いなら仕方ないことだから、だって私でもわからないのもあったし。」

管理人「ハハハハハ、ところで今回の脱出人数は何人だと思う？」

ハヤテ「え？えーと・・・。」

ヒナギク「12人じゃない？」

管理人「その通り！今回の脱出人数は12名！今回は1人当たり10万円ということで120万円差し上げます！」

明日菜「え！？すごい！」

そしてスタッフから120万円が渡される。

明日菜「これはすごい大金ね・・・。」

ナギ「まあ私はこんなの見慣れているけどな。」

ヒナギク「1人につき12万円ね。」

西沢「このお金、私初めて持つよ。」

のどか「このお金どうしようかなあ……。」

この大金に10人とも色々な表情をする。

その頃……

スタッフ「管理人さん、よくあんな大金を奮発しましたね。」

管理人「いやあ、あの企業がスポンサーになってくれたからこんな大金が出せたんですよ。なんたってあの企業の家って資産5京円って言われてたからね。ある意味三千院家のよりスゴイと思うよ。」

どうやらある企業がスポンサーになってくれたことでこんな賞金が出せたらしい。でも管理人のセリフによると三千院家ではないそうだ。

終わり

水の間 その4 そして結果発表（後書き）

次回はあるアニメの生徒会同士が対決！

どんなアニメの生徒会が登場するのか・・・。

ちなみに次回出演するアニメにあのスポンサーが関係します！

注・こ。亀ではないよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0629v/>

第4回アニメキャラ限定 脱出ゲームDERO！

2011年11月16日13時54分発行